令　和　２　年　度

千　葉　県　の　水　道

本書の内容は、全て千葉県のホームページに掲載されています。

千葉県のホームページ(**http://www.pref.chiba.lg.jp/**)

→ くらし・福祉・健康 → くらし → 水道・下水道

→ 水道政策・水資源

→ 水道統計

千 葉 県 総 合 企 画 部 水 政 課

は　じ　め　に

水道は、県民が健康で文化的な生活を営む上で、欠かすことのできないライフライン施設として、また、産業・経済活動を支える基盤施設として、重要な役割を果たしているものです。

その一方で、今年度においても水管橋の事故や送水管の漏水事故が依然として発生しており、人口減少に伴う料金収入の減少、人材不足の深刻化の中で、水道施設の老朽化や耐震化に取り組んでいく必要があると認識しています。

また、本県は地形上水源に恵まれないことから、水源の約７割を利根川水系が占めています。このため、同じ利根川水系の表流水を使用する水道事業者の経営基盤にも地域により格差が生じ、料金にも格差が生じている状況です。

災害への備えも重要です。令和元年の房総半島台風等により、主として停電を原因とする断水が発生した経験を踏まえ、県では、国の補助制度の対象とならない比較的小さな水道施設を対象とする非常用発電設備の補助制度を令和３年度に創設したところですが、引き続き災害対応力の強化に取り組んでいく必要があります。

これらの課題の解決を図るため、個々の水道事業体の取組のみでは限界があることから、県では、水道事業の統合・広域連携を進めているところです。リーディングケースである九十九里地域・南房総地域の水道用水供給事業体と県営水道の統合に向けて、令和２年度に副知事と副市町村長等で構成する統合協議会準備会議を設置して協議を進め、令和３年度に統合の基本的な方向性について合意したところであり、令和４年度は知事と市町村長等で協議を行っていく統合協議会を設置し、早期の統合実現を目指して取り組んでまいります。

今後も安全で良質な水の安定供給を目指し、本県の水道事業の基盤強化に向けて取り組んでまいりますので、関係者の皆様には、より一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後に、本書の作成に当たり、調査に御協力いただきました水道事業者等をはじめとする関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、本書が今後の水道事業運営等の御参考になれば幸いに存じます。

令和４年３月

千葉県総合企画部水政課長

木村　文和

目　　次

Ⅰ　水道事業の概要 …… 1
1. 水道の箇所数 …… 3
2. 水道の普及状況 …… 5
3. 水源及び給水状況 …… 10
(1)水源別取水量(上水道事業及び水道用水供給事業) …… 10
(2)給水量(上水道事業のみ) …… 10
(3)施設状況(上水道事業及び水道用水供給事業) …… 15
(4)施設の耐震化状況(上水道事業及び水道用水供給事業) …… 17
4. 経営状況 …… 19
(1)収益的収支 …… 19
ア. 収益的収支の概要 …… 19
イ. 職員一人当たり業務量 …… 21
ウ. 給水原価と供給単価 …… 22
エ. 水道料金 …… 25
(2)資本的収支 …… 26
(3)貸借対照表 …… 28

Ⅱ　市町村別水道普及状況 …… 29
市町村別水道普及状況 …… 31
市町村別水道普及表 …… 32

Ⅲ　水道施設別一覧表 …… 39
1. 水道用水供給事業 …… 39
水道用水供給事業給水対象区域図 …… 41
その1 (基本計画、年間実績取水量等) …… 42
その2 (実績一日最大給水量等) …… 44
その3 (管種別管延長) …… 46
2. 上水道事業 …… 47
その1 (基本計画、現在給水人口等) …… 48
その2 (年間給水量等) …… 54
その3 (管種別管延長) …… 60
3. 簡易水道事業 …… 67
4. 専用水道 …… 73
5. 飲料水供給施設 …… 77
6. 水利権取得状況 …… 83
参考 …… 87
1. 保健所別水道普及状況 …… 89
2. 事業主体所在地一覧表 …… 96

凡　　例

1. 収録の範囲

本資料は、厚生労働省所管の「令和2年度水道統計調査」を基礎とし、その他の資料で一部を補充したものである。

2. 調査対象

令和3年3月31日までに認可を受けた上水道事業、簡易水道事業及び水道用水供給事業又は確認を受けた専用水道及び飲料水供給施設。

3. 水道の区分

区　分		定　義	経営主体	管理主体	実施の手続き
水道事業	上水道事業	一般の需要に応じて水を供給する事業で給水人口5，001人以上のもの	原則として市町村		厚生労働大臣の認可が必要（給水人口5万人以下の事業については都道府県知事）
水道事業	簡易水道事業	一般の需要に応じて水を供給する事業で給水人口101人以上5，000人以下のもの	原則として市町村		厚生労働大臣の認可が必要（給水人口5万人以下の事業については都道府県知事）
水道用水供給事業		水道事業者に対して水道用水を供給する事業	原則として地方公共団体（都道府県、一部事務組合等）		厚生労働大臣の認可が必要（1日最大給水量が25，000㎥以下の事業については都道府県知事）
専用水道		水道事業の用に供する水道以外の水道であって、101人以上の者に対して居住に必要な水を供給するもの又は飲用等人の生活の用に供する水量が日量20㎥を超えるもの	――	設置者	都道府県知事の確認が必要（市の区域については市長）
簡易専用水道		水道事業の用に供する水道及び専用水道以外の水道であって、水道事業から供給される水のみを水源とし、受水槽の有効容量が10㎥を超えるもの	――	設置者	保健所長に届出が必要（市の区域については市長）

飲料水供給施設	50人以上100人以下を給水人口として人の飲用に供する水を供給する施設

4. 調査対象期間

年間の実績値については、令和2年度（令和2年4月1日～令和3年3月31日）実績とし、その他の項目については令和3年3月31日現在のものとした。

5. 調査方法

県から各市町村、各水道事業者、各水道用水供給事業者及び保健所に調査を依頼し、それぞれの回答を県で集計した。

用　語　の　定　義

1. 普　及　率 ＝ $\dfrac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{行政区域内現在人口（千葉県総合企画部統計課資料 令和3年4月1日現在）}}$

2. 給水普及率 ＝ $\dfrac{\text{上水道(簡易水道)現在給水人口}}{\text{上水道(簡易水道)計画給水区域内現在人口}}$

3. 浄水処理方法

(1)浄水処理方法

浄水処理の方法を、次のとおり略記した。

緩速濾過…**緩**	急速濾過…**急**	消毒のみ…**消**	
前塩素処理…**前塩**	中間塩素処理…**中塩**	ﾏﾝｶﾞﾝ接触濾過…**マ濾**	多層濾過……**多濾**

(2)高度処理等

併せて行った高度浄水処理等について、次のとおり略記した。

活性炭処理…**活炭**	オゾン処理…**ｵｿﾞﾝ**	生物処理……**生物**	ｴｱﾚｰｼｮﾝ……**エア**

4. 給　水　実　績

(1) 有効水量　　有収水量＋無収水量
　　メーターで計量された水量、需要者に到達したものと認められる水量等

(2) 無効水量　　配水管での漏水、不明水量、水道施設の損壊等により無効となった水量等

(3) 有収水量　　料金徴収の対象となった水量

(4) 無収水量　　給水量のうち料金徴収の対象とならなかった水量

(5) 稼働率 ＝ $\dfrac{\text{1日最大給水量（分水量を含む）}}{\text{施 設 能 力}}$

(6) 負荷率 ＝ $\dfrac{\text{1日平均給水量（分水量を含む）}}{\text{1日最大給水量（分水量を含む）}}$

(7) 有効率 ＝ $\dfrac{\text{年間有効水量＋年間分水有効水量}}{\text{年間給水量＋年間分水量}}$

(8) 有収率 ＝ $\dfrac{\text{年間有収水量＋年間分水有収水量}}{\text{年間給水量＋年間分水量}}$

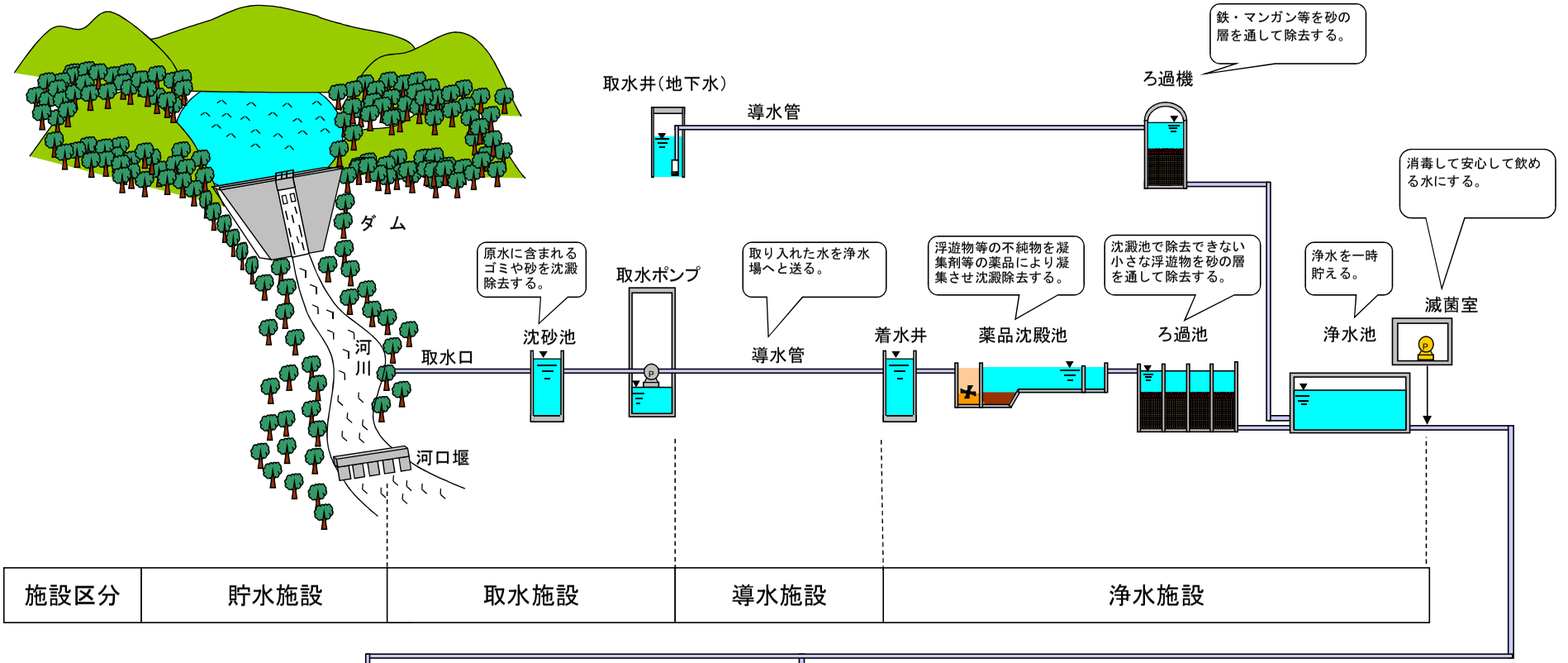
(9) 利用量率 ＝ $\dfrac{\text{年間給水量＋年間分水量}}{\text{年間取水量}}$

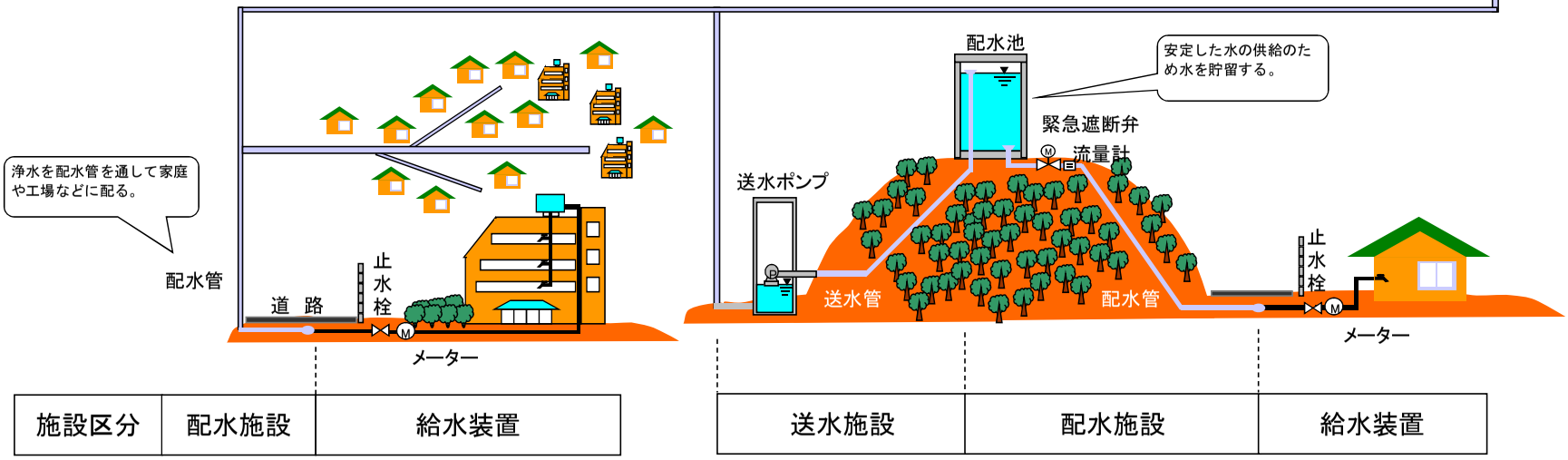
5. 供給単価・給水原価

(1) 供給単価 ＝ $\dfrac{\text{給 水 収 益}}{\text{年間有収水量}}$

(2) 給水原価 ＝ $\dfrac{\text{経常費用－(受託工事費＋材料及び不用品売却原価＋附帯事業費)－長期前受金戻入}}{\text{年間有収水量}}$

水　道　施　設　の　概　要


ダ　ム
河　川
河口堰
取水口
沈砂池
原水に含まれるゴミや砂を沈澱除去する。
取水ポンプ
導水管
取水井（地下水）
取り入れた水を浄水場へと送る。
着水井
薬品沈殿池
浮遊物等の不純物を凝集剤等の薬品により凝集させ沈澱除去する。
ろ過池
沈澱池で除去できない小さな浮遊物を砂の層を通して除去する。
ろ過機
鉄・マンガン等を砂の層を通して除去する。
浄水池
浄水を一時貯える。
滅菌室
消毒して安心して飲める水にする。
施設区分
貯水施設
取水施設
導水施設
浄水施設


浄水を配水管を通して家庭や工場などに配る。
配水管
道　路
止水栓
メーター
配水池
安定した水の供給のため水を貯留する。
緊急遮断弁
流量計
送水ポンプ
送水管
配水管
止水栓
メーター
施設区分
配水施設
給水装置
送水施設
配水施設
給水装置

Ⅰ　水 道 事 業 の 概 要

１．水道の箇所数

令和２年度末現在、水道法で規定する水道の箇所数（ただし、簡易専用水道を除く）は980箇所あり、その内訳は、水道用水供給事業6、上水道事業40、簡易水道事業3、専用水道931となっており、令和元年度と比較して7箇所の増となった。〔表－１〕

その他、水道法による規制の対象である簡易専用水道の設置数は、令和２年度末現在8,632箇所となっている。

表－１　水道の種類別箇所数の推移

年　度	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水道用水供給事業	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
上水道事業	55	54	53	53	54	54	44	44	43	43	43	43	40	40
簡易水道事業	77	52	18	14	6	6	5	4	3	3	3	3	3	3
専用水道	293	386	396	440	475	482	770	827	894	900	911	917	924	931
合　計	429	497	472	513	541	548	825	881	946	952	963	969	973	980

表－２ 水道事業者数及び事業数(水道用水供給事業、上水道事業、簡易水道事業)

年　　度			30年度		元年度		2年度	
			事業者数	事業数	事業者数	事業数	事業者数	事業数
水道用水供給事業 A（全て特別地方公共団体営）			6	6	6	6	6	6
	水道用水供給のみ行うもの A’		6	6	5	5	5	5
	上水道も行うもの		0	0	1	1	1	1
上水道事業 B			41	43	38	40	38	40
	県営 C		1	1	1	1	1	1
	市町村営 D		35	37	31	33	31	33
		上水道のみ行うもの	33	35	29	31	29	31
		簡易水道も行うもの	2	2	2	2	2	2
	特別地方公共団体 E		5	5	6	6	6	6
		上水道のみ行うもの	5	5	5	5	5	5
		水道用水供給も行うもの	0	0	1	1	1	1
簡易水道事業 F(全て市営)			2	3	2	3	2	3
	簡易水道のみ行うもの F’		0	0	0	0	0	0
	上水道も行うもの		2	3	2	3	2	3
合計	事業者数 A’＋B＋F’		47	―	43	―	43	―
	事 業 数 A＋B＋F		―	52	―	49	―	49

＊かずさ水道広域連合企業団は1つの事業者で上水道事業と水道用水供給事業を行っている。
＊東庄町、香取市はそれぞれ1つの事業者で2つの上水道事業を行っているため、上水道事業の事業者数 と事業数は一致しない。
＊成田市は、1つの事業者で2つの簡易水道事業を行っているため、簡易水道事業の事業者数と事業数は一致しない。
＊簡易水道の内訳は、香取市(旧栗源町)、成田市(旧大栄町・旧下総町)であり、両市とも上水道事業と簡易水道事業を行っている。

表－３　現在給水人口規模別の上水道事業数の推移

年　度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
１００万人以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
５０万～１００万人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
２５万～　５０万人　〃	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
１０万～　２５万人　〃	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8
５万～　１０万人　〃	8	8	8	8	8	8	8	8	6	6
３万～　５万人　〃	10	10	9	9	8	8	8	8	7	7
２万～　３万人　〃	3	2	2	2	3	3	3	3	3	3
１万～　２万人　〃	4	5	6	6	6	6	6	6	6	6
５千～　１万人　〃	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5
５千人未満	2	2	2	1	1	1	1	1	2	2
計	44	44	44	43	43	43	43	43	40	40

2. 水道の普及状況

令和2年度末における水道普及状況は、行政区域内人口約628万人に対して給水人口は、約600万人であり、普及率は前年度より0.1ポイント増加し、95.5%となった。〔図－2〕

県内を地域別に見ると、県営水道が主である地域や人口集中地域(京葉(96.3%)・東葛飾(97.9%)・君津地域(100.0%)、南房総地域(98.4%))では普及率が高いが、印旛(88.5%)・香取(81.7%)・東総(94.0%)・九十九里(92.0%)地域では普及率は低く、地域間で格差がある。〔表－4、図－1〕

表－4 地域別市町村普及率

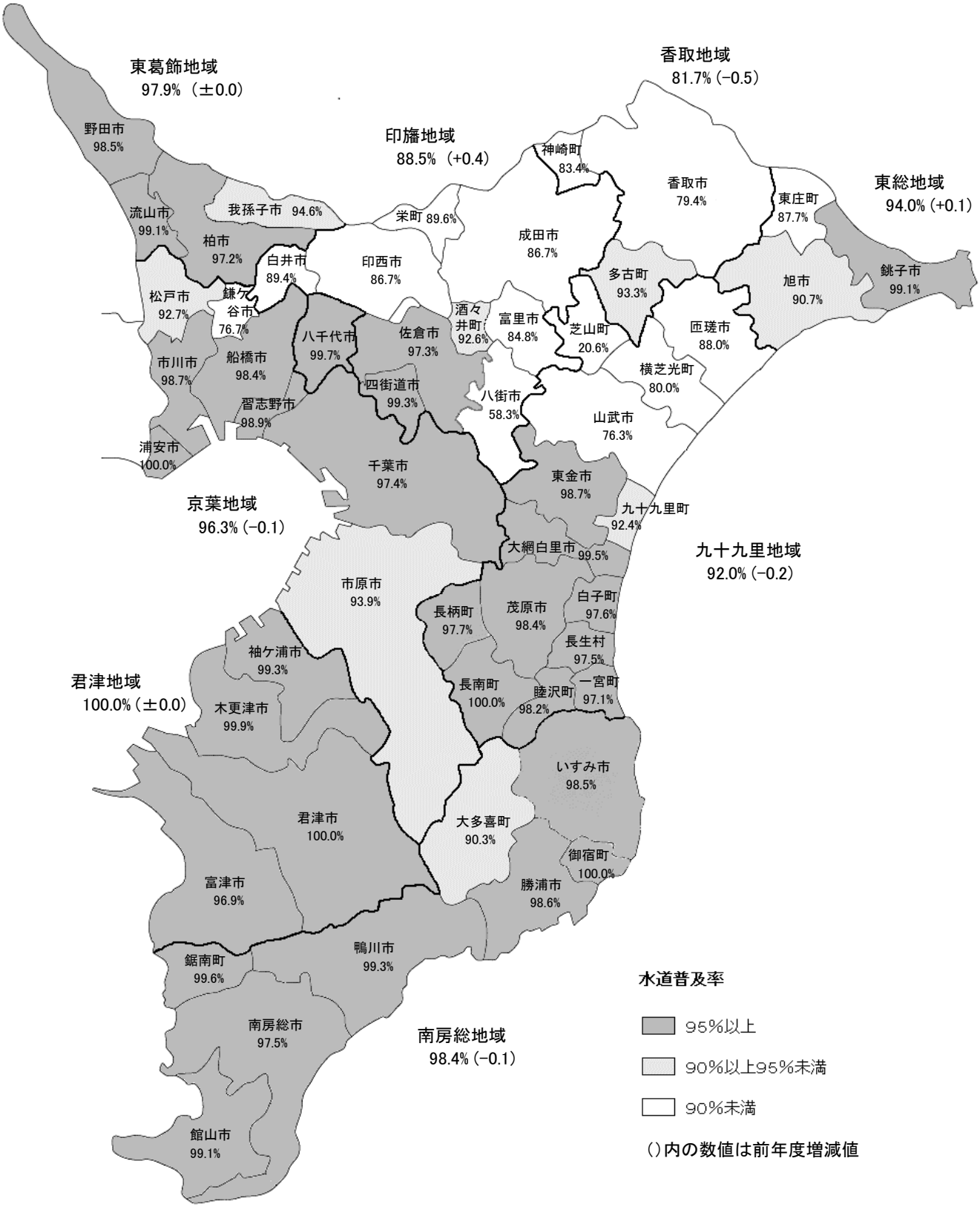
地域	市町村	普及率	
		令和2年度末	令和元年度末
京葉地域	千葉市	97.4%	97.3%
	市川市	98.7%	98.7%
	船橋市	98.4%	98.6%
	松戸市	92.7%	93.0%
	習志野市	98.9%	99.3%
	市原市	93.9%	93.6%
	鎌ケ谷市	76.7%	76.8%
	浦安市	100.0%	100.0%
	小計	96.3%	96.4%
東葛飾地域	野田市	98.5%	98.4%
	柏市	97.2%	97.2%
	流山市	99.1%	99.3%
	八千代市	99.7%	99.7%
	我孫子市	94.6%	94.4%
	小計	97.9%	97.9%
君津地域	木更津市	99.9%	99.9%
	君津市	100.0%	100.0%
	富津市	96.9%	97.2%
	袖ケ浦市	99.3%	99.2%
	小計	100.0%	100.0%

地域	市町村	普及率	
		令和2年度末	令和元年度末
印旛地域	成田市	86.7%	86.5%
	佐倉市	97.3%	96.9%
	四街道市	99.3%	99.4%
	八街市	58.3%	57.7%
	印西市	86.7%	84.9%
	白井市	89.4%	89.6%
	富里市	84.8%	83.8%
	酒々井町	92.6%	92.9%
	栄町	89.6%	89.8%
	小計	88.5%	88.1%
香取地域	香取市	79.4%	79.9%
	神崎町	83.4%	82.4%
	多古町	93.3%	93.6%
	小計	81.7%	82.2%

地域	市町村	普及率	
		令和2年度末	令和元年度末
東総地域	銚子市	99.1%	99.2%
	旭市	90.7%	90.3%
	東庄町	87.7%	88.3%
	小計	94.0%	93.9%
九十九里地域	茂原市	98.4%	98.3%
	東金市	98.7%	99.5%
	匝瑳市	88.0%	89.0%
	山武市	76.3%	76.7%
	大網白里市	99.5%	99.5%
	九十九里町	92.4%	92.6%
	芝山町	20.6%	20.6%
	横芝光町	80.0%	80.4%
	一宮町	97.1%	98.9%
	睦沢町	98.2%	97.3%
	長生村	97.5%	97.5%
	白子町	97.6%	96.6%
	長柄町	97.7%	97.4%
	長南町	100.0%	100.0%
	小計	92.0%	92.2%

地域	市町村	普及率	
		令和2年度末	令和元年度末
南房総地域	館山市	99.1%	99.8%
	勝浦市	98.6%	98.4%
	鴨川市	99.3%	99.3%
	南房総市	97.5%	97.9%
	いすみ市	98.5%	97.6%
	大多喜町	90.3%	90.8%
	御宿町	100.0%	100.0%
	鋸南町	99.6%	99.7%
	小計	98.4%	98.5%
千葉県 計		95.5%	95.4%

図－１　令和２年度末　市町村別普及図



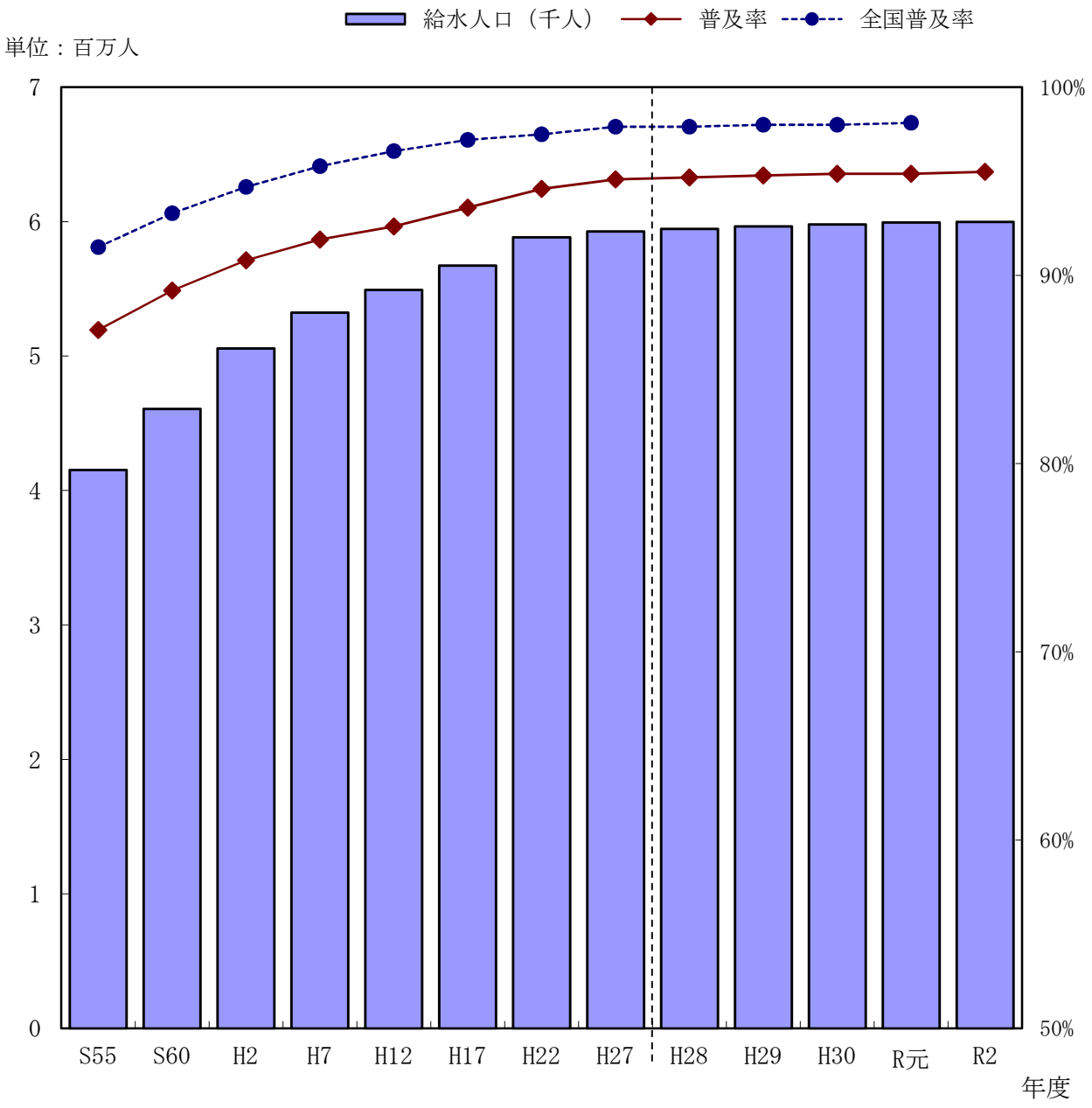
全国の水道普及状況については「令和元年度末」における数値を下表に示す。全国では平均を下回る34番目の普及率であり、近隣の都県と比較しても低いものとなっている。〔表－5、図－2〕

表－5 全国の水道普及状況(令和元年度末)　　(令和2年3月31日現在 単位:人)

都道府県	総人口	給水人口				普及率	(参考)
	A	上水道	簡易水道	専用水道	合計 B	B/A	30年度普及率
北海道	5,242,300	4,813,542	311,939	16,377	5,141,858	98.1%	98.1%
青森	1,232,644	1,173,666	28,634	1,214	1,203,514	97.6%	97.6%
岩手	1,222,029	1,099,689	46,561	5,490	1,151,740	94.2%	94.0%
宮城	2,282,334	2,257,108	5,690	1,052	2,263,850	99.2%	99.2%
秋田	956,004	805,353	68,187	3,295	876,835	91.7%	91.7%
山形	1,074,957	1,041,986	21,937	299	1,064,222	99.0%	99.0%
福島	1,834,618	1,661,973	59,494	13,299	1,734,766	94.6%	94.2%
茨城	2,858,164	2,677,924	30,594	5,090	2,713,608	94.9%	94.7%
栃木	1,959,520	1,853,154	3,843	19,994	1,876,991	95.8%	95.7%
群馬	1,963,992	1,879,361	73,432	1,832	1,954,625	99.5%	99.5%
埼玉	7,341,652	7,314,145	5,306	5,718	7,325,169	99.8%	99.8%
千葉	**6,280,344**	**5,944,174**	**6,185**	**43,867**	**5,994,226**	**95.4%**	95.4%
東京	13,983,631	13,949,512	12,191	22,835	13,984,538	100.0%	100.0%
神奈川	9,204,965	9,174,677	14,597	5,245	9,194,519	99.9%	99.9%
新潟	2,206,219	2,099,483	91,801	3,898	2,195,182	99.5%	99.5%
富山	1,037,323	942,288	22,869	3,003	968,160	93.3%	93.3%
石川	1,131,538	1,080,487	33,404	2,523	1,116,414	98.7%	98.7%
福井	777,009	697,044	51,513	915	749,472	96.5%	96.4%
山梨	822,651	719,320	86,756	4,583	810,659	98.5%	98.3%
長野	2,035,925	1,929,418	84,307	1,906	2,015,631	99.0%	98.9%
岐阜	1,979,516	1,824,912	60,968	4,653	1,890,533	95.5%	95.5%
静岡	3,624,878	3,513,448	61,625	15,079	3,590,152	99.0%	99.0%
愛知	7,542,632	7,496,015	17,933	17,798	7,531,746	99.9%	99.9%
三重	1,807,493	1,790,652	8,436	1,289	1,800,377	99.6%	99.6%
滋賀	1,418,771	1,376,111	32,400	5,311	1,413,822	99.7%	99.7%
京都	2,578,217	2,555,174	14,701	1,057	2,570,932	99.7%	99.7%
大阪	8,819,226	8,816,487	0	1,548	8,818,035	100.0%	100.0%
兵庫	5,446,223	5,417,474	19,937	1,255	5,438,666	99.9%	99.9%
奈良	1,326,241	1,305,366	15,280	158	1,320,804	99.6%	99.3%
和歌山	938,224	877,254	38,018	1,378	916,650	97.7%	99.3%
鳥取	558,265	504,415	38,758	4,547	547,720	98.1%	98.0%
島根	668,162	633,063	17,090	683	650,836	97.4%	97.4%
岡山	1,885,263	1,778,869	88,305	2,052	1,869,226	99.1%	99.2%
広島	2,818,823	2,653,341	10,786	6,978	2,671,105	94.8%	94.6%
山口	1,345,017	1,244,461	11,811	4,505	1,260,777	93.7%	93.7%
徳島	723,198	659,957	27,887	13,869	701,713	97.0%	97.0%
香川	950,285	941,197	3,046	4	944,247	99.4%	99.3%
愛媛	1,362,958	1,214,069	37,473	20,735	1,272,277	93.3%	93.2%
高知	691,989	557,735	92,109	3,137	652,981	94.4%	94.2%
福岡	5,101,947	4,774,200	20,848	44,463	4,839,511	94.9%	94.6%
佐賀	820,070	770,357	9,423	1,839	781,619	95.3%	95.1%
長崎	1,313,537	1,253,065	33,387	11,704	1,298,156	98.8%	98.5%
熊本	1,738,086	1,431,703	91,824	14,790	1,538,317	88.5%	88.1%
大分	1,127,361	994,600	36,463	8,460	1,039,523	92.2%	92.2%
宮崎	1,071,642	1,007,313	34,631	1,780	1,043,724	97.4%	97.5%
鹿児島	1,620,590	1,418,859	146,787	15,348	1,580,994	97.6%	97.6%
沖縄	1,451,211	1,426,808	24,027	17	1,450,852	100.0%	99.9%
全国合計	126,177,644	121,351,209	2,053,193	366,872	123,771,274	98.1%	－
平成30年度	126,437,001	121,384,594	2,203,892	382,787	123,971,273	98.0%	－
増減	△ 259,357	△ 33,385	△ 150,699	△ 15,915	△ 199,999	0.1%	－

※厚生労働省水道課公表資料「令和元年度給水人口と水道普及率」をもとに作成。

図－2　給水人口と普及率の推移



年　　度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
総人口　（千人）	4,768	5,165	5,567	5,794	5,930	6,057	6,218	6,229	6,244	6,256	6,268	6,280	6,284
給水人口（千人）	4,153	4,607	5,056	5,323	5,492	5,672	5,883	5,927	5,945	5,963	5,979	5,994	5,998
普及率	87.1%	89.2%	90.8%	91.9%	92.6%	93.6%	94.6%	95.1%	95.2%	95.3%	95.4%	95.4%	95.5%

全国普及率	91.5%	93.3%	94.7%	95.8%	96.6%	97.2%	97.5%	97.9%	97.9%	98.0%	98.0%	98.1%	－

水道の種類別に給水状況をみると、上水道99.2%、簡易水道0.1%、専用水道0.7%であり、ほとんどの県民が上水道事業から給水を受けている状況となっている。
中でも、県営水道による給水人口が、全給水人口の約半数(51.1%)を占めている。〔表－6〕

表－6　水道の種類別給水人口　（単位:人）

区分		令和元年度		令和2年度		増減 B－A
		給水人口 A	構成比	給水人口 B	構成比	
上水道	県営	3,056,177	51.0%	3,064,881	51.1%	8,704
	特別地方公共団体営	727,295	12.1%	724,071	12.1%	△ 3,224
	市町営	2,161,110	36.1%	2,160,729	36.0%	△ 381
	小計(注)	5,944,582	99.2%	5,949,681	99.2%	5,099
簡易水道	市営	6,185	0.1%	6,043	0.1%	△ 142
	私営	0	0.0%	0	0.0%	0
	小計	6,185	0.1%	6,043	0.1%	△ 142
専用水道	自己水源のみによるもの	43,867	0.7%	42,523	0.7%	△ 1,344
	上記以外のもの	―	―	―	―	―
	小計	43,867	0.7%	42,523	0.7%	△ 1,344
合計		5,994,634	100.0%	5,998,247	100.0%	3,613

(注)茨城県への給水人口を含む。(令和元年度408人・令和2年度367人)

総人口	6,280,344	―	6,283,727	―	3,383

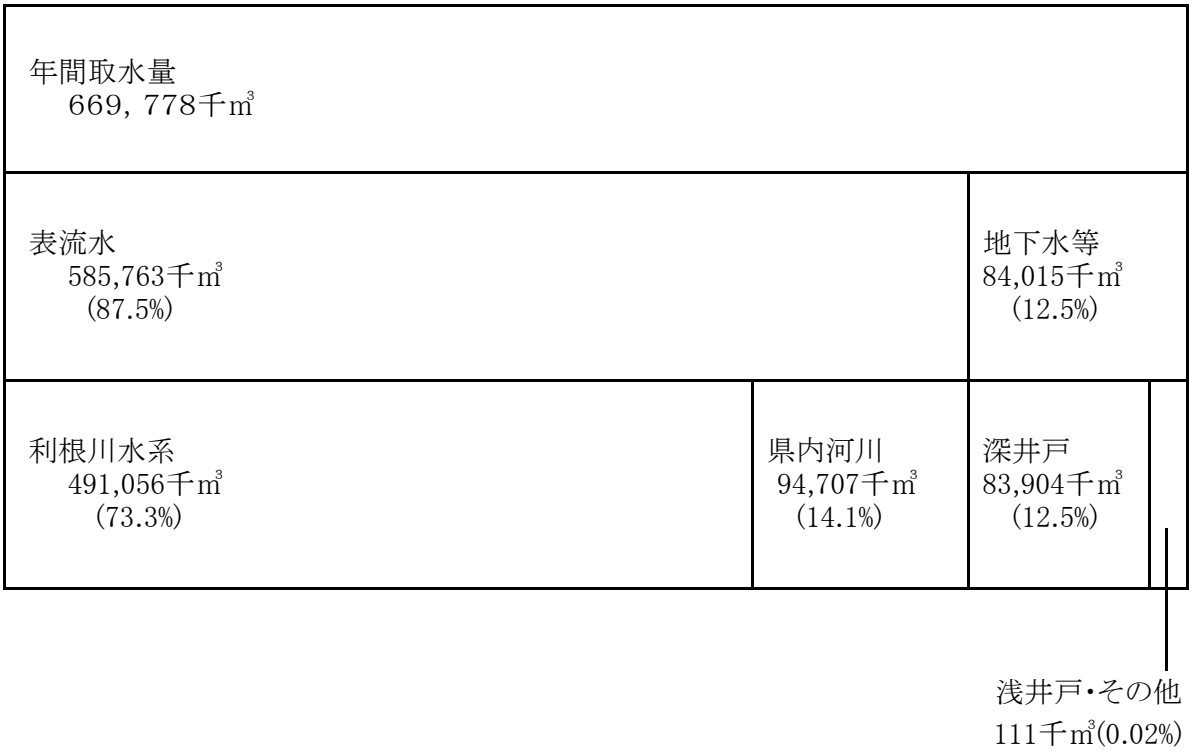
3. 水源及び給水状況

(1)水源別取水量(上水道事業及び水道用水供給事業)

令和2年度における年間取水量は、約6億7千万㎥であり、その水源内訳は、利根川水系が約4億9千万㎥(全取水量の73.3%)、県内河川が約9千5百万㎥(同14.1%)、その他地下水等が約8千4百万㎥(同12.5%)で、全体の約7割を利根川水系から取水している。〔図－3〕

水道水源はダム開発への依存を強めており、令和2年度には全取水量の81.2%(全て安定水源)を占めている。〔図－4〕

図－3 年間取水量の内訳



参考: 年間取水量 = 上水道の取水量 － 用水供給からの受水量 ＋ 用水供給の取水量

669,778 千㎥ = 664,762 － 298,921 ＋ 303,937

(2)給水量(上水道事業のみ)

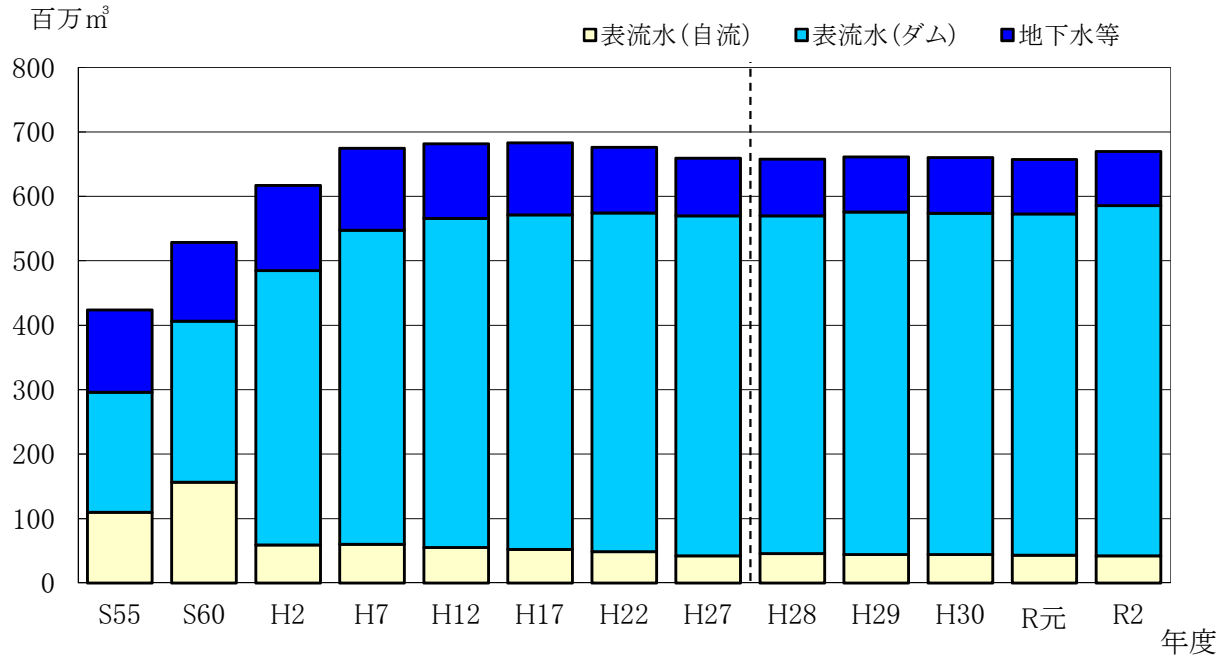
令和2年度の年間給水量は約6億5千万㎥であり、前年度と比較し約1130万㎥増加している。〔図－5〕

上水道の有効率(全給水量のうち有効に使われた水量の割合)は95.6%(前年度95.2%)、有収率(全給水量のうち料金収入を伴った水量の割合)は93.2%(前年度92.7%)となっており、前年度より増加している。〔図－6〕

また、年間有収水量は約6億㎥であり、前年度と比較し約1384万㎥の増となり、需要用途別の内訳は、生活用が約5億3千万㎥(全有収水量の87.9%)、業務・営業用が約6千万㎥(同9.3%)、工場用が約1千万㎥(同2.3%)等となっている。〔図－7〕

月別の給水量では、8月が最大となり5,699万㎥、最小は2月で5,007万㎥である。月平均給水量は、5,407万㎥(前年度5,313万㎥)となっている。〔図－8〕

図－4　水道の水源別取水量

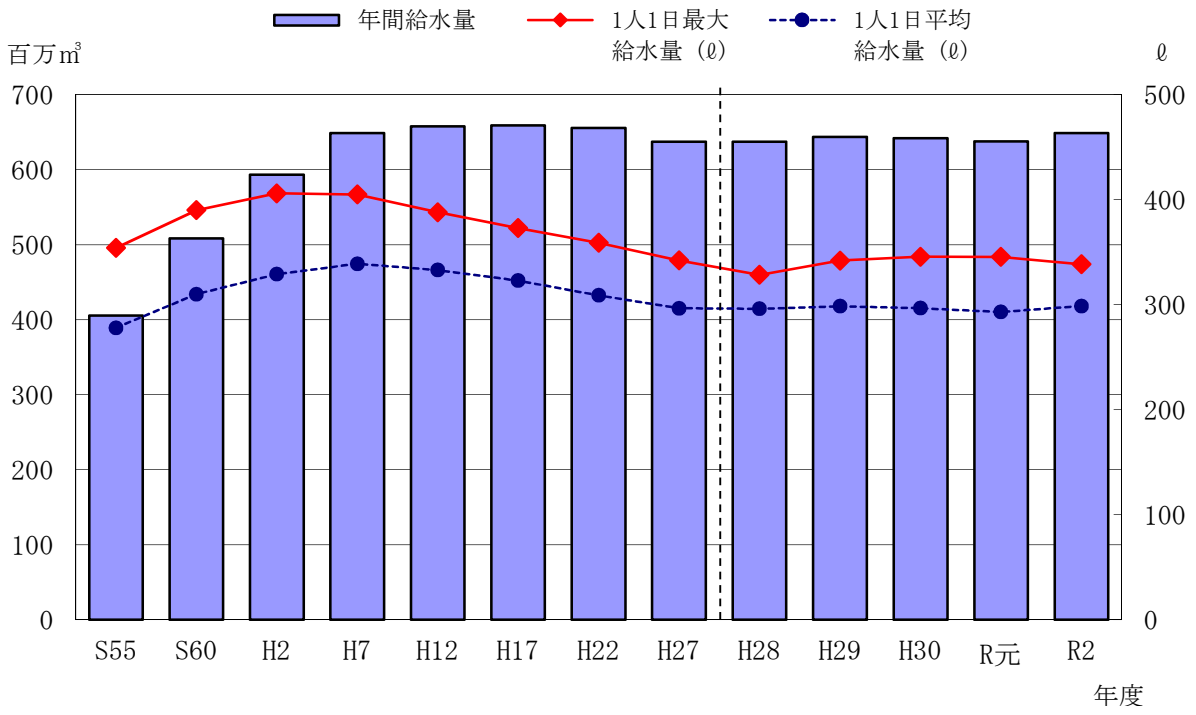


年　度			S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
水源種別	表流水		296,184	406,513	484,930	547,516	565,758	571,498	574,304	569,701	569,541	575,686	573,717	572,624	585,763
			69.9%	76.9%	78.6%	81.1%	83.0%	83.7%	85.0%	86.4%	86.6%	87.1%	86.9%	87.1%	87.5%
		自流	109,935	156,670	59,186	59,907	54,874	52,320	48,392	42,117	45,575	44,364	43,915	43,364	42,036
			26.0%	29.6%	9.6%	8.8%	8.1%	7.7%	7.2%	6.4%	6.9%	6.7%	6.6%	6.5%	6.3%
		ダム	186,249	249,843	425,744	487,609	510,884	519,178	525,912	527,584	523,966	531,322	529,802	529,260	543,727
			43.9%	47.3%	69.0%	72.3%	74.9%	76.0%	77.8%	80.0%	79.7%	80.4%	80.3%	80.5%	81.2%
		安定水源	－	－	189,573	295,030	440,376	452,553	462,726	481,642	484,191	492,413	490,893	490,351	543,727
			－	－	30.7%	43.7%	64.6%	66.3%	68.5%	73.1%	73.6%	74.5%	74.4%	74.6%	81.2%
		暫定水源	－	－	236,171	192,579	70,508	66,625	63,186	45,942	39,775	38,909	38,909	38,909	0
			－	－	38.3%	28.6%	10.3%	9.8%	9.3%	7.0%	6.0%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%
	地下水等		127,698	122,072	132,081	127,214	116,010	111,313	101,569	89,378	88,250	85,370	86,295	84,529	84,015
			30.1%	23.1%	21.4%	18.9%	17.0%	16.3%	15.0%	13.6%	13.4%	12.9%	13.1%	12.9%	12.5%
		深井戸	127,410	121,672	131,275	126,085	115,083	110,860	101,453	89,269	88,131	85,252	86,184	84,422	83,904
			30.1%	23.0%	21.3%	18.7%	16.9%	16.2%	15.0%	13.5%	13.4%	12.9%	13.1%	12.8%	12.5%
		浅井戸	288	400	806	1,129	927	453	116	109	119	118	111	107	111
		その他	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計（千㎥）			423,882	528,585	617,011	674,730	681,768	682,811	675,873	659,079	657,791	661,056	660,012	657,153	669,778

注１　上段は取水量（単位：千㎥）下段は比率である。

注２　自流とは、ダム等の水源開発施設に依存しない水源をいう。

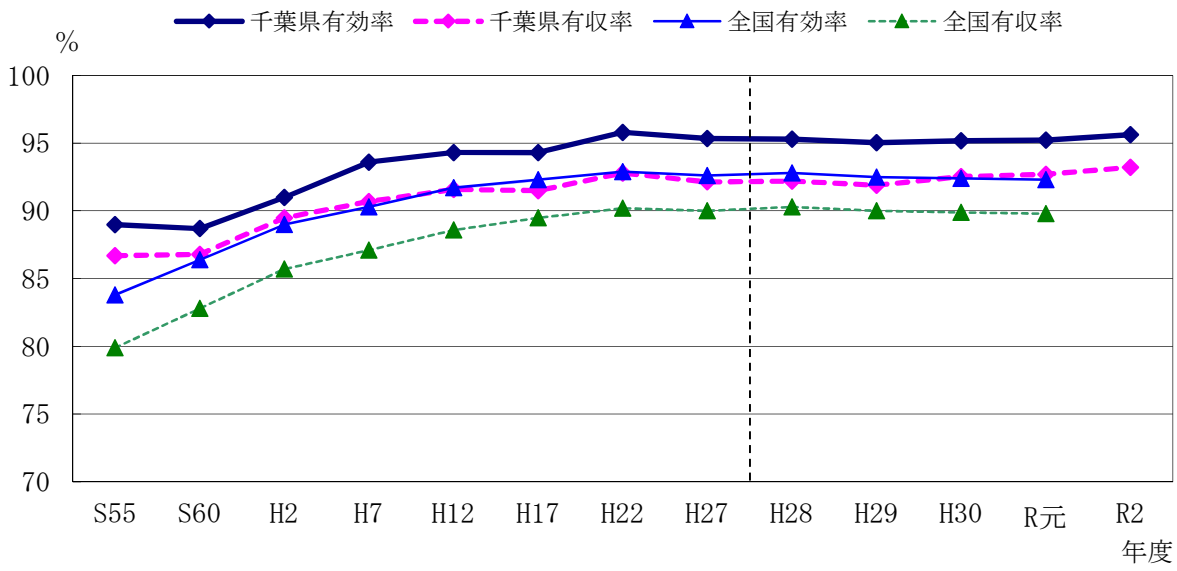
図－5 給水量



	年　度	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
千葉県	年間給水量（千㎥）	405,390	508,584	593,333	648,986	657,728	659,039	655,804	637,172	637,310	643,890	641,946	637,553	648,857
	1人1日最大給水量（ℓ）	354	390	406	405	388	373	359	342	328	342	346	345	339
	1人1日平均給水量（ℓ）	278	310	329	339	333	323	309	297	296	299	297	293	299

全国	1人1日最大給水量（ℓ）	461	477	493	482	457	423	401	386	372	379	375	366	—
	1人1日平均給水量（ℓ）	361	376	394	391	381	363	346	330	330	332	331	328	—

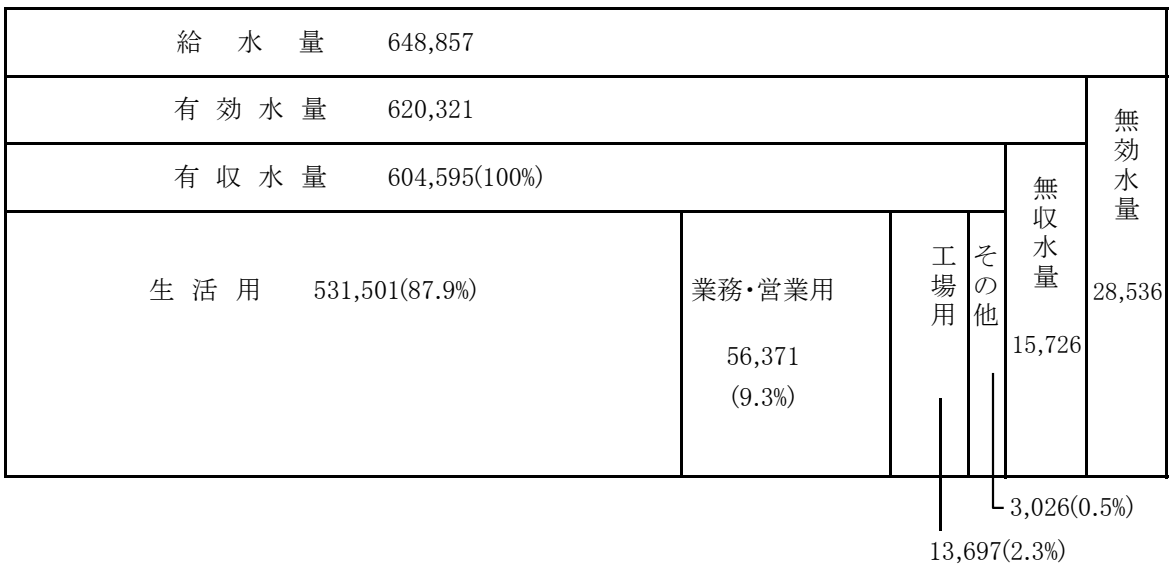
図－６　有効率、有収率の推移



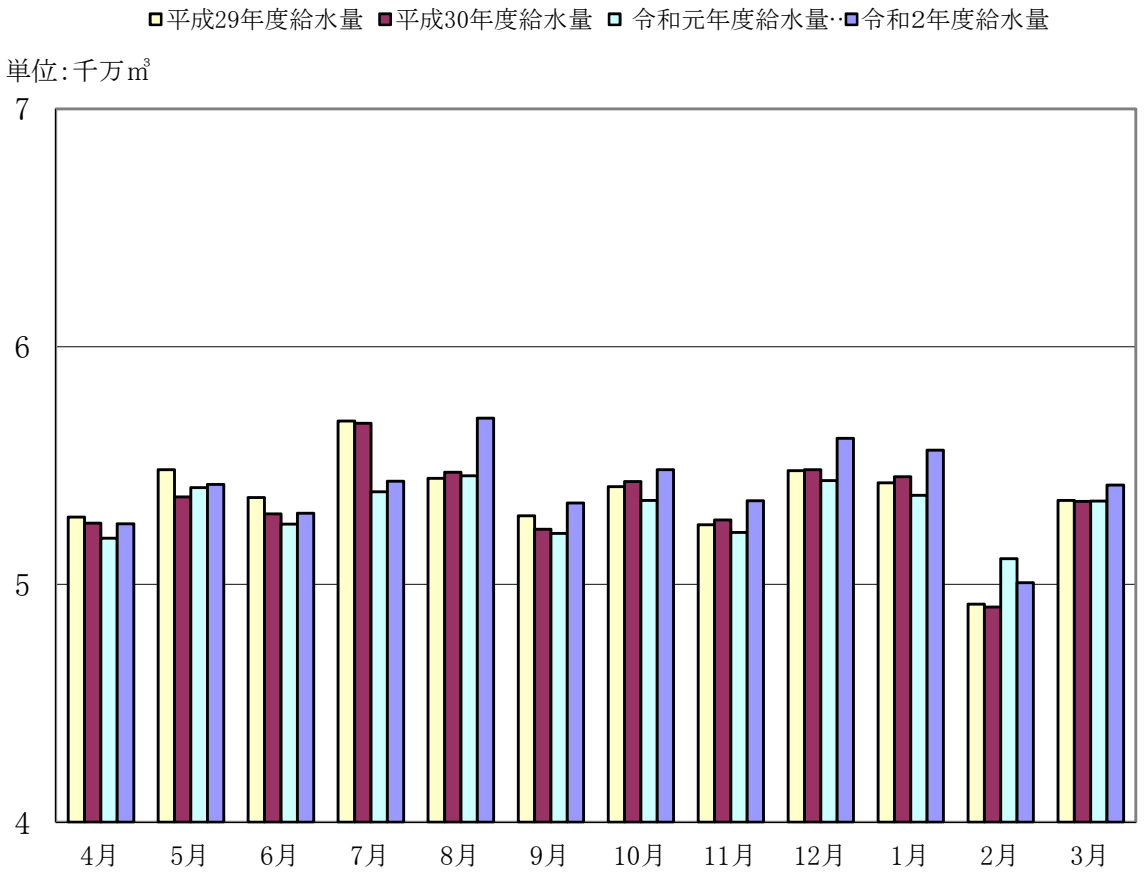
年　度		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
千葉県	有効率	89.0%	88.7%	91.0%	93.6%	94.3%	94.3%	95.8%	95.4%	95.3%	95.0%	95.2%	95.2%	95.6%
	有収率	86.7%	86.8%	89.5%	90.7%	91.6%	91.5%	92.8%	92.1%	92.2%	91.9%	92.5%	92.7%	93.2%

全国	有効率	83.8%	86.4%	89.0%	90.3%	91.7%	92.3%	92.9%	92.6%	92.8%	92.5%	92.4%	92.3%	―
	有収率	79.9%	82.8%	85.7%	87.1%	88.6%	89.5%	90.2%	90.0%	90.3%	90.0%	89.9%	89.8%	―

図－７　令和2年度給水量の内訳［上水道事業］　　（単位:千㎥）



図－8　上水道の月別給水量



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
令和2年度給水量（万㎥）	5,255	5,421	5,299	5,434	5,699	5,342	5,483	5,351	5,614	5,564	5,007	5,418	64,886
月平均給水量に対する割合	97.2%	100.3%	98.0%	100.5%	105.4%	98.8%	101.4%	99.0%	103.8%	102.9%	92.6%	100.2%	月平均 5,407
令和元年度給水量（万㎥）	5,194	5,406	5,253	5,390	5,457	5,215	5,353	5,218	5,437	5,374	5,108	5,351	63,755
平成30年度給水量（万㎥）	5,257	5,368	5,296	5,678	5,472	5,231	5,432	5,271	5,483	5,453	4,905	5,349	64,195
平成29年度給水量（万㎥）	5,283	5,483	5,365	5,687	5,446	5,288	5,411	5,251	5,478	5,427	4,917	5,354	64,389

(3)施設状況(上水道事業及び水道用水供給事業)

令和２年度における施設能力は3,684千㎥/日で、前年度(3,657千㎥/日)と比較し約27千㎥/日増加している。

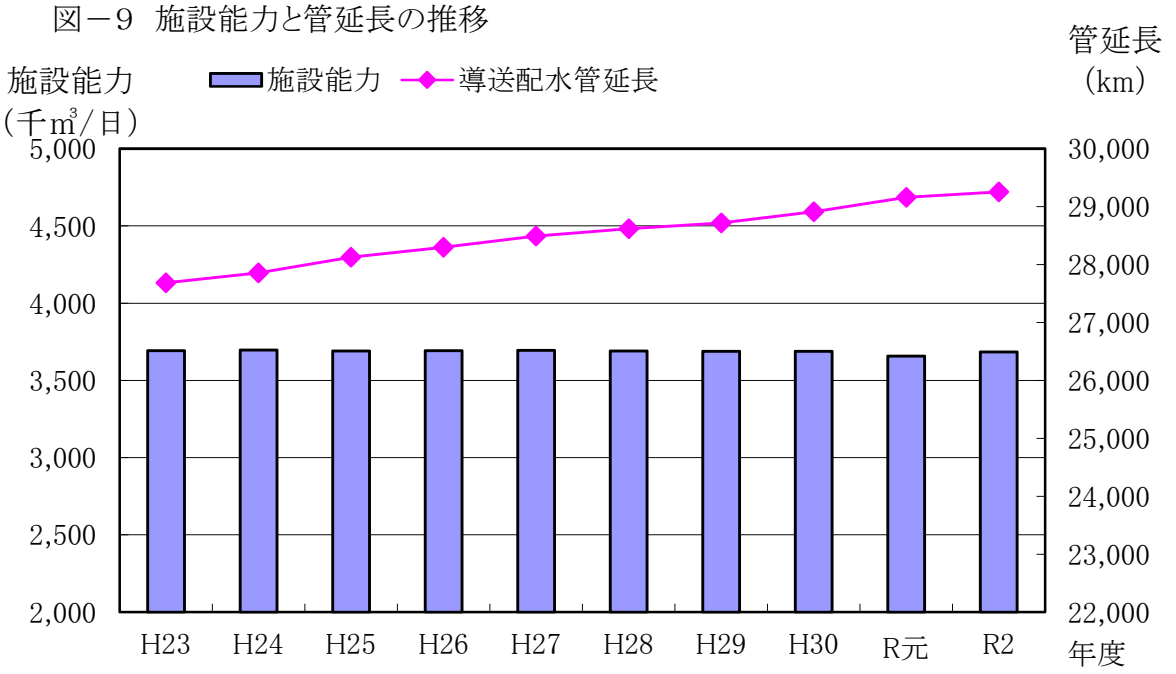
導送配水管延長は29,255kmで、前年度(29,159km)と比較して約96km増加している。〔図－9〕

管種別延長では、ダクタイル鋳鉄管が65.4%で最も普及し、硬質塩化ビニル管が25.7％と続き、この2管種で約91％を占めている。

前年度に比べ石綿セメント管は約31km減少している。〔表－7〕

法定耐用年数(４０年)を超えた管路の延長は7,819ｋｍであり、総延長29,255ｋｍの26.7%となっている。〔表－8〕

図－9　施設能力と管延長の推移



年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設能力(千㎥/日)	3,692	3,696	3,691	3,693	3,694	3,691	3,689	3,688	3,657	3,684
	(2,591)	(2,591)	(2,588)	(2,590)	(2,590)	(2,589)	(2,587)	(2,586)	(2,554)	(2,575)
導送配水管延長(km)	27,685	27,857	28,126	28,300	28,491	28,618	28,719	28,914	29,159	29,255
	(27,136)	(27,309)	(27,577)	(27,752)	(27,935)	(28,062)	(28,163)	(28,352)	(28,596)	(28,690)

注1　施設能力とは、年度末現在の稼働しうる浄水能力(予備を含まない)を基準とした能力で、分水と用水に係る施設能力を含む。

注2　( )書は上水道事業の数値で内数である。

表－7　令和2年度　上水道事業(現在給水人口規模別)及び水道用水供給事業の管種別管延長

(単位:m、( )内は構成比)

給水人口＼管種	鋳鉄管	ダクタイル鋳鉄管	鋼管	石綿セメント管	硬質塩化ビニル管	その他 ※1	総延長
１００万人以上	19,577 (0.2%)	8,723,694 (94.7%)	167,259 (1.8%)	5,504 (0.1%)	291,191 (3.2%)	0 (0.0%)	9,207,225
５０万～１００万人未満	－	－	－	－	－	－	－
２５万～　５０万人　〃	41,773 (1.0%)	2,544,620 (58.7%)	43,743 (1.0%)	217,087 (5.0%)	1,164,585 (26.9%)	319,539 (7.4%)	4,331,347
１０万～　２５万人　〃	55,884 (0.8%)	3,202,553 (45.2%)	65,535 (0.9%)	7,546 (0.1%)	2,977,271 (42.1%)	771,415 (10.9%)	7,080,204
５万～　１０万人　〃	12,851 (0.5%)	1,609,618 (64.3%)	11,850 (0.5%)	91,359 (3.7%)	709,652 (28.4%)	65,768 (2.6%)	2,501,098
３万～　５万人　〃	3,925 (0.1%)	1,433,310 (47.5%)	48,012 (1.6%)	113,089 (3.7%)	1,213,200 (40.3%)	206,333 (6.8%)	3,017,869
２万～　３万人　〃	184 (0.0%)	325,516 (35.0%)	7,943 (0.9%)	119,643 (12.9%)	455,411 (49.0%)	20,574 (2.2%)	929,271
１万～　２万人　〃	5,157 (0.6%)	478,837 (57.0%)	7,118 (0.8%)	7,634 (0.9%)	309,080 (36.8%)	32,844 (3.9%)	840,670
５千～　１万人　〃	1,491 (0.2%)	275,510 (43.3%)	7,535 (1.2%)	11,875 (1.9%)	328,357 (51.5%)	11,844 (1.9%)	636,612
５千人未満	0 (0.0%)	46,262 (31.8%)	363 (0.2%)	0 (0.0%)	84,435 (58.2%)	14,225 (9.8%)	145,285
上水道事業合計	140,842 (0.5%)	18,639,920 (64.9%)	359,358 (1.3%)	573,737 (2.0%)	7,533,182 (26.3%)	1,442,542 (5.0%)	28,689,581
水道用水供給事業	0 (0.0%)	498,835 (88.3%)	65,867 (11.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	823 (0.1%)	565,525
合計	140,842 (0.5%)	19,138,755 (65.4%)	425,225 (1.5%)	573,737 (2.0%)	7,533,182 (25.7%)	1,443,365 (4.9%)	29,255,106
(参考)令和元年度合計	147,232 (0.5%)	19,074,526 (65.4%)	426,493 (1.4%)	604,659 (2.1%)	7,577,571 (26.0%)	1,328,336 (4.6%)	29,158,817

※1　その他にはポリエチレン管、コンクリート管、ステンレス管等を含む。

表－8　法定耐用年数(40年)を超過した管路の延長

(単位:km, %)

区　分	総延長 (a)	法定耐用年数を超えた管の延長 (b)	法定耐用年数を超えた管の割合 (b／a)
上水道事業	28,689.6	7,612.6	26.5%
水道用水供給事業	565.5	206.8	36.6%
合計	29,255.1	7,819.4	26.7%
(参考)令和元年度合計	29,158.8	7,518.7	25.8%

(4)施設の耐震化状況(上水道事業及び水道用水供給事業)

令和2年度において基幹管路(導水管、送水管、配水本管)における耐震適合性のある管の延長は1,388kmであり、総延長2,320kmの59.8%である。〔表－9〕

※ 耐震適合性のある管・・・耐震管以外でも管路が布設された地盤の性状を勘案すれば耐震性があると評価できる管があり、それらを耐震管に加えたものを「耐震適合性のある管」と呼ぶ

表－9　基幹管路の耐震化の状況　(単位:km, %)

区　分	総延長 (a)	耐震適合性のある管の延長 (b)	耐震適合率 (b／a)
千葉県	2,319.7	1,387.6	59.8%
上水道事業	1,754.2	938.6	53.5%
水道用水供給事業	565.5	449.0	79.4%
全　国	112,504.5	45,830.7	40.7%

耐震対策が施されている浄水施設能力(L2対応)は約1,082千㎥/日であり、浄水施設能力約2,724千㎥/日の39.7%である。〔表－10〕

耐震対策が施されているポンプ場施設能力(ランクAでL2対応及びランクBでL1対応以上)は約8,045千㎥/日であり、ポンプ場施設能力約15,099千㎥/日の53.3%である。〔表－11〕

耐震対策が施されている配水池容量(ランクAでL2対応及びランクBでL1対応以上)は約1,030千㎥であり、配水池容量約1,879千㎥の54.8%である。(ランクAでL2対応は54.4%)〔表－12〕

※ L1(レベル1地震動)・・・・・・当該施設の設置地点において発生するものと想定される地震動のうち、当該施設の供用期間中に発生する可能性の高いもの

L2(レベル2地震動)・・・・・・当該施設の設置地点において発生するものと想定される地震動のうち、最大規模の強さを有するもの

ランクA(重要な水道施設)・・取水施設、貯水施設、導水施設及び送水施設
配水施設のうち、破損した場合に重大な二次災害を生じるおそれが高いもの及び配水本管に接続する施設等

ランクB (その他の施設)・・・・ランクA(重要な水道施設)以外の施設

表－10　耐震対策が施されている浄水施設能力

区　分	耐震対策が施されている浄水施設能力(㎥/日)		
	浄水施設能力 (c)	L2対応 (d)	浄水施設能力に占める耐震化割合 (d／c)
現在給水人口 100万人以上	992,700	230,000	23.2%
50万～100万人未満	－	－	－
25万～ 50万人 〃	99,980	22,050	22.1%
10万～ 25万人 〃	184,885	26,470	14.3%
5万～ 10万人 〃	141,490	48,100	34.0%
3万～ 5万人 〃	82,350	11,956	14.5%
2万～ 3万人 〃	52,550	0	0.0%
1万～ 2万人 〃	42,750	3,565	8.3%
5千～ 1万人 〃	17,823	3,306	18.5%
5千人未満	3,864	1,639	42.4%
上水道事業合計	1,618,392	347,086	21.4%
水道用水供給事業	1,109,240	736,290	66.4%
合　計	2,727,632	1,083,376	39.7%

表－11　耐震対策が施されているポンプ場施設能力

区　分	ポンプ場施設能力（㎥/日）(e)	耐震対策が施されているポンプ場施設能力（㎥/日）			
		ランクAでL2対応 (f)	ランクBでL2対応及びL1対応 (g)	ランクBでL2未対応及びL1対応 (h)	ポンプ場施設能力に占める耐震化割合 (f＋g＋h)／(e)
現在給水人口100万人以上	5,586,480	4,850,000	0	0	86.8%
50万～100万人未満	－	－	－	－	－
25万～ 50万人 〃	973,008	320,707	0	0	33.0%
10万～ 25万人 〃	1,745,712	329,713	0	0	18.9%
5万～ 10万人 〃	796,752	310,170	0	0	38.9%
3万～ 5万人 〃	583,056	38,966	0	0	6.7%
2万～ 3万人 〃	352,944	0	0	1,224	0.3%
1万～ 2万人 〃	302,832	23,314	0	0	7.7%
5千～ 1万人 〃	135,504	3,200	0	0	2.4%
5千人未満	29,664	1,639	0	0	5.5%
上水道事業合計	10,505,952	5,877,709	0	1,224	56.0%
水道用水供給事業	4,622,400	2,168,989	0	0	46.9%
合　計	15,128,352	8,046,698	0	1,224	53.2%

表－12　耐震対策が施されている配水池容量

区　分	配水池有効容量（㎥）(i)	耐震対策が施されている配水池容量（㎥）				
		ランクAでL2対応 (j)	ランクBでL2対応及びL1対応 (k)	ランクBでL2未対応及びL1対応 (l)	施設能力に占める耐震化割合 (j＋k＋l)／(i)	ランクAでL2対応が施されている耐震化割合 (j／i)
現在給水人口100万人以上	812,518	458,840	0	0	56.5%	56.5%
50万～100万人未満	－	－	－	－	－	－
25万～ 50万人 〃	182,879	87,506	0	0	47.8%	47.8%
10万～ 25万人 〃	287,765	182,495	0	0	63.4%	63.4%
5万～ 10万人 〃	145,556	75,885	0	0	52.1%	52.1%
3万～ 5万人 〃	98,396	35,485	2,259	2,700	41.1%	36.1%
2万～ 3万人 〃	26,278	0	0	776	3.0%	0.0%
1万～ 2万人 〃	36,940	6,972	0	0	18.9%	18.9%
5千～ 1万人 〃	14,840	4,920	903	400	41.9%	33.2%
5千人未満	2,318	0	0	1,070	46.2%	0.0%
上水道事業合計	1,607,490	852,103	3,162	4,946	53.5%	53.0%
水道用水供給事業	271,040	169,370	0	0	62.5%	62.5%
合　計	1,878,530	1,021,473	3,162	4,946	54.8%	54.4%

4. 経営状況

(1)収益的収支

ア. 収益的収支の概要

令和2年度における上水道事業及び水道用水供給事業の総収益は約1,879億円で、営業収益の増加などにより、前年度(約1,860億円)と比較して約19億円、1.0%増加している。内訳は、総収益の79.8%を占めている給水収益が約1,500億円で、前年度(約1,498億円)と比較して増加し、総収益の2.6%を占めている他会計補助金が約49億円で、前年度(約50億円)と比較して減少、特別利益が約4億円で、前年度(約0.6億円)と比較して増加している。

また、総費用は約1,700億円で、特別損失の増加などにより、前年度(約1,662億円)と比較して約38億円、2.3%増加している。内訳は、総費用の63.3%を占めている人件費、減価償却費及び受水費の合計が約1,075億円で、前年度(約1,060億円)と比較して約15億円増加、特別損失が約21億円で、前年度(約3億円)と比較して約18億円増加している。

この結果、純損益は約179億円の黒字で前年度(約198億円)と比較して約19億円、9.9%減少している。〔表－13〕

表－13 収益的収支の状況 (消費税分を除く)　　(単位:百万円、%)

項目	上水道	構成比	用水供給	構成比	2年度計 a	構成比	元年度計 b	対前年比 a／b
総収益 (A)＝(B)+(E)	154,295	100.0	33,571	100.0	187,866	100.0	186,016	101.0
内訳 経常収益 (B)＝(C)+(D)	154,177	99.9	33,300	99.2	187,476	99.8	185,956	100.8
内訳 営業収益 (C)	124,131	80.4	30,488	90.8	154,619	82.3	154,139	100.3
内訳 うち給水収益	119,587	77.5	30,410	90.6	149,997	79.8	149,821	100.1
内訳 営業外収益 (D)	30,046	19.5	2,812	8.4	32,858	17.5	31,818	103.3
内訳 うち他会計補助金	4,939	3.2	5	0.0	4,944	2.6	5,022	98.5
内訳 特別利益 (E)	118	0.1	271	0.8	389	0.2	60	650.7
総費用 (A)'＝(B)'+(E)'	138,328	100.0	31,675	100.0	170,004	100.0	166,198	102.3
内訳 経常費用 (B)'＝(C)'+(D)'	138,230	99.9	29,696	93.7	167,926	98.8	165,942	101.2
内訳 営業費用 (C)'	133,158	96.2	28,748	90.7	161,906	95.2	158,872	101.9
内訳 うち 人件費	11,058	8.0	2,143	6.8	13,201	7.8	13,225	99.8
内訳 減価償却費	49,668	35.9	13,513	42.7	63,181	37.2	61,936	102.0
内訳 受水費	31,127	22.5	0	0.0	31,127	18.3	30,875	100.8
内訳 受託工事費	469	0.3	0	0.0	469	0.3	378	124.2
内訳 営業外費用 (D)'	5,071	3.7	948	3.0	6,019	3.5	7,070	85.1
内訳 うち支払利息	4,578	3.3	945	3.0	5,523	3.2	6,021	91.7
内訳 特別損失 (E)'	99	0.1	1,980	6.3	2,078	1.2	256	812.4
当年度純損益 (A)－(A)'	15,967		1,895		17,862		19,818	90.1
経常収支比率	111.5		112.1		111.6		112.1	
営業収支比率	93.2		106.1		95.5		97.0	

※ 経常収支比率＝経常収益／経常費用×100

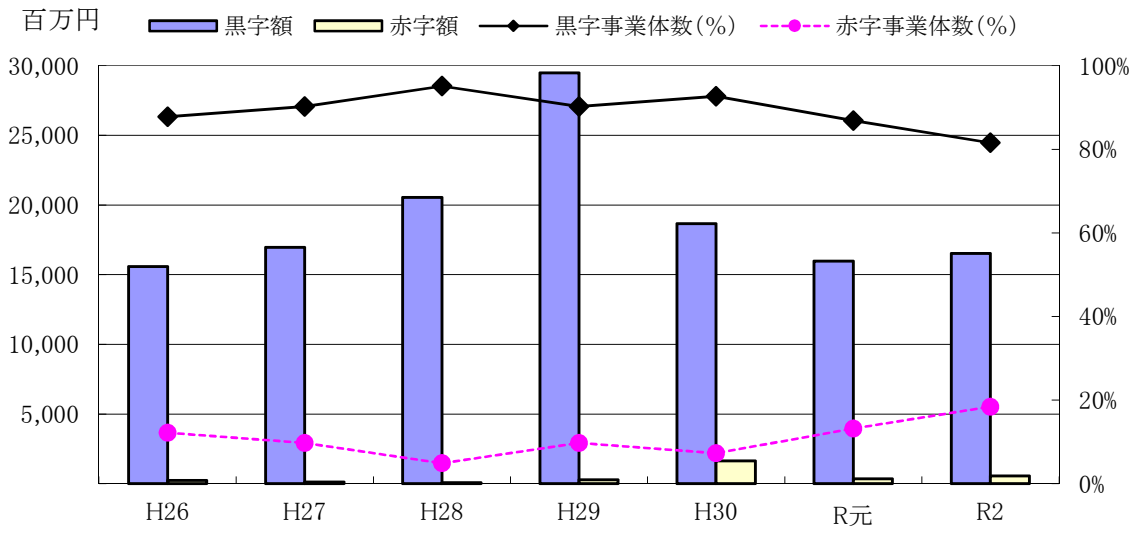
※ 営業収支比率＝(営業収益－受託工事収益)/(営業費用－受託工事費)×100

※ 端数処理により合計は合わないことがある。

このうち、上水道事業において純利益を生じた黒字事業者は31（全事業者の81.6％）で、前年度（33事業者）と比較して2事業者減少しており、黒字額は約165億円（前年度約160億円）となっている。一方、純損失を生じた赤字事業者は7（全事業者の18.4％）で、前年度（5事業者）と比較して2事業者増加しており、赤字額は約5億7千万円（前年度約3億4千万円）となっている。

また、累積欠損金を有する事業者は3事業者（全事業者の7.9％）で、前年度（2事業者）比較して1事業者増加しており、累積欠損金額は約6千8百万円で、前年度（約3千9百万円）と比較して増加している。〔表－14〕

図－10　経営状況（上水道事業）



（単位：百万円）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
黒字事業者数　a	36	37	39	37	38	33	31
黒字事業者数（%）　b	87.8%	90.2%	95.1%	90.2%	92.7%	86.8%	81.6%
黒字額　c	15,585	16,974	20,550	29,484	18,664	15,965	16,532
赤字事業者数　d	5	4	2	4	3	5	7
赤字事業者数（%）　e	12.2%	9.8%	4.9%	9.8%	7.3%	13.2%	18.4%
赤字額　f	229	111	70	271	1,634	342	566
事業者数　a＋d	41	41	41	41	41	38	38
収支（黒字額-赤字額）　c－f	15,356	16,862	20,480	29,213	17,030	15,623	15,966

注：事業者数は、会計が同一で複数の事業を行っている事業者は1つとしてカウントしている。

表－14　累積欠損金の状況（上水道事業）　（単位：百万円）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
累積欠損金を有する事業者数	1	2	1	2	1	2	3
累積欠損金を有する事業者数（%）	2.4%	4.9%	2.4%	4.9%	2.4%	5.3%	7.9%
累積欠損金	26	19	16	41	28	39	68
〈参考〉							
事業者数	41	41	41	41	41	38	38
利益剰余金-欠損金	232,907	36,016	41,398	33,685	29,038	24,478	25,888

注：事業者数は、会計が同一で複数の事業を行っている事業者は1つとしてカウントしている。

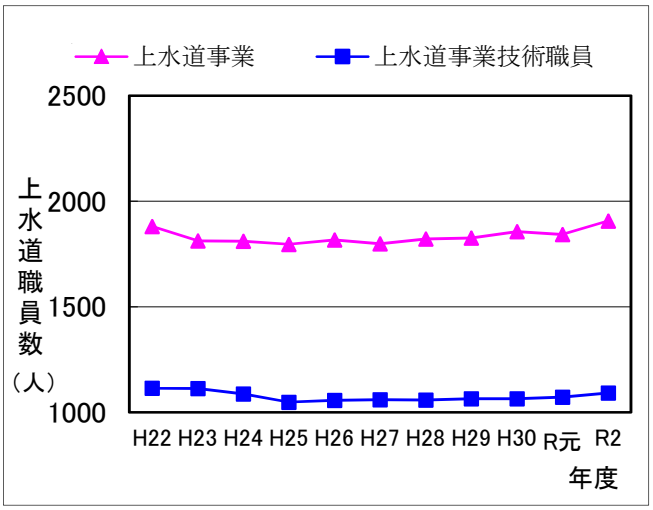
イ. 職員一人当たり業務量

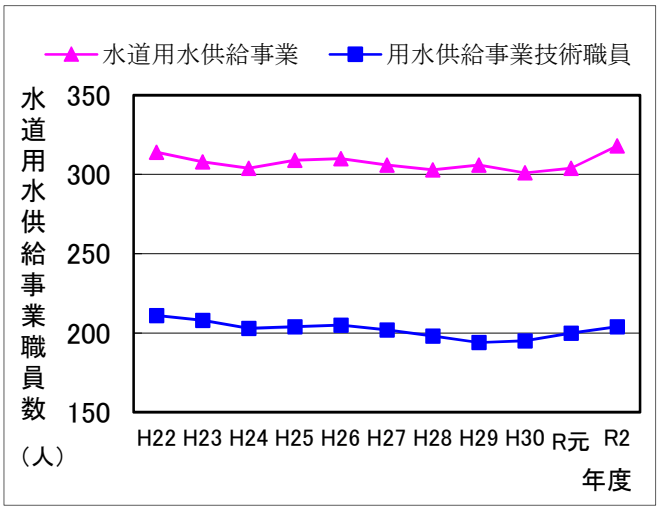
令和2年度における上水道事業及び水道用水供給事業の職員数は2,224人で前年度より77人の増加となっている。〔図－11〕

上水道事業における職員一人当たり業務量をみると、給水量では34.0万m^3で前年度に比べ0.6万m^3の減少、給水人口は3,122人で前年度に比べ103人の減少、営業収益では6,274万円で前年度に比べ219万円の減少となっている。〔表－15〕

また、水道用水供給事業における職員一人当たり給水量をみると、93.6万m^3で前年度に比べて1.2万m^3減少、営業収益では9,563万円で前年度に比べ357万円減少している。〔表－16〕

図－11　職員数の推移





（単位：人）

年　度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
上水道事業職員数	1,880	1,853	1,810	1,796	1,816	1,798	1,821	1,825	1,856	1,843	1,906
（うち技術職員数）	1,114	1,113	1,087	1,048	1,057	1,060	1,059	1,064	1,064	1,072	1,092
水道用水供給事業職員数	314	309	304	309	310	306	303	306	301	304	318
（うち技術職員数）	211	208	203	204	205	202	198	194	195	200	204
合　計	2,194	2,162	2,114	2,105	2,126	2,104	2,124	2,131	2,157	2,147	2,224
（うち技術職員数）	1,325	1,321	1,290	1,252	1,262	1,262	1,257	1,258	1,259	1,272	1,296

表－15　上水道事業職員一人当たり業務量

年　度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職員一人当たり給水量　（万㎥）	34.9	35.6	35.4	35.6	34.9	35.4	35.0	35.3	34.6	34.6	34.0
職員一人当たり給水人口　（人）	3,094	3,205	3,210	3,240	3,213	3,265	3,235	3,237	3,193	3,225	3,122
職員一人当たり営業収益（万円）	6,847	6,882	6,882	6,684	6,511	6,594	6,525	6,590	6,736	6,493	6,274

表－16　水道用水供給事業職員一人当たり業務量

年　度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
職員一人当たり給水量（万㎥）	86.3	87.9	90.6	87.7	88.3	90.5	91.7	93.0	95.6	94.8	93.6
職員一人当たり営業収益（万円）	10,226	10,135	10,325	10,104	10,020	10,193	10,170	10,103	10,161	9,920	9,563

ウ. 給水原価と供給単価

上水道事業の有収水量1m³当たりの給水原価は195円72銭で、前年度(200円34銭)に比べ4円62銭の減少となっている。このうち、人件費が18円15銭(同18円49銭)、減価償却費が81円54銭(同82円19銭)、受水費が51円10銭(同51円86銭)、支払利息が7円52銭(同8円38銭)で、それぞれ全体の9.3％、41.7％、26.1％、3.8%を占めている。〔表－17〕

また、有収水量1m³当たりの供給単価は195円14銭で、前年度(201円01銭)に比べ5円87銭減少している。

給水原価と供給単価を比較すると、供給単価が給水原価を58銭下回り、料金回収率(供給単価／給水原価×100)は99.7％となっており、前年度(100.3％)を下回っている。なお、令和2年度までの料金回収率は全国値を下回っている。〔表－18、図－12〕

表－17 上水道事業における給水原価の内訳 (単位:円/㎥、%)

項目		令和2年度		令和元年度		対前年比
		a	構成比	b	構成比	a/b
給水原価		195.72	100.0	200.34	100.0	97.7
内訳	人件費	18.15	9.3	18.49	9.2	98.2
	減価償却費	81.54	41.7	82.19	41.0	99.2
	受水費	51.10	26.1	51.86	25.9	98.5
	(うち資本費相当額)	(23.73)	(12.1)	(23.59)	(11.8)	100.6
	支払利息	7.52	3.8	8.38	4.2	89.7
	その他	37.41	19.1	39.42	19.7	94.9

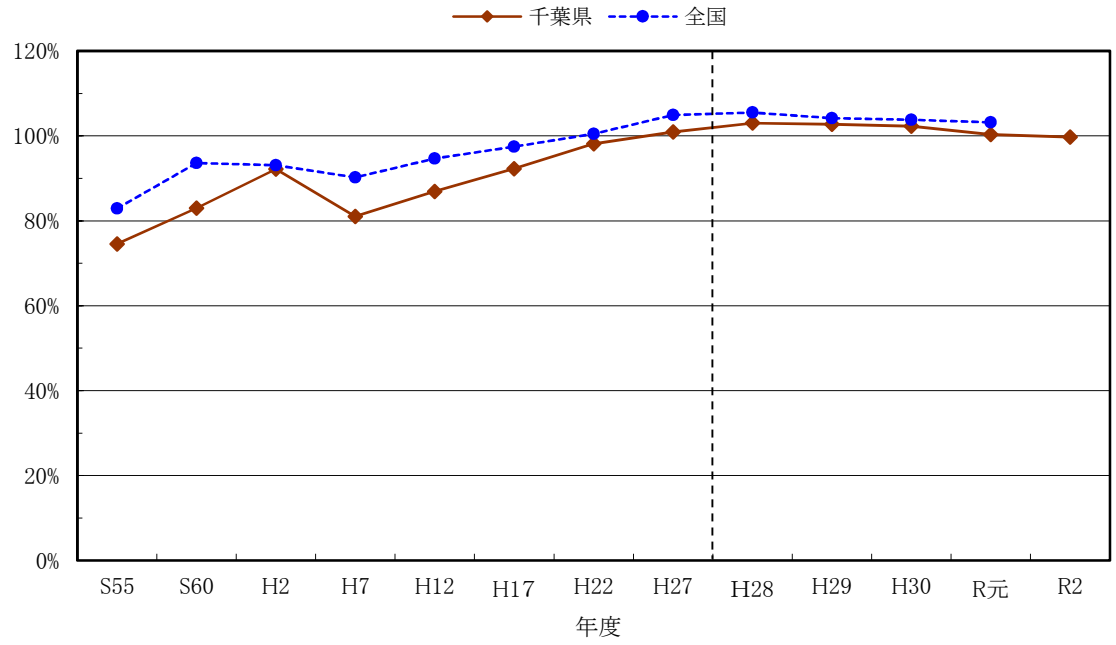
※端数処理により合計は合わないことがある。

表－18 上水道事業における給水原価、供給単価、及び料金回収率の推移(単位:円/㎥、%)

年度		S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	H28	H29	H30	R元	R2
千葉県	給水原価	144.09	193.32	190.48	221.14	239.28	225.85	208.11	198.67	194.94	195.28	196.97	200.34	195.72
	供給単価	107.44	160.47	175.65	179.11	207.88	208.45	204.18	200.55	200.81	200.66	201.42	201.01	195.14
	料金回収率	74.6%	83.0%	92.2%	81.0%	86.9%	92.3%	98.1%	100.9%	103.0%	102.8%	102.3%	100.3%	99.7%
全国	給水原価	118.86	145.63	152.66	176.00	182.27	179.74	172.65	164.40	163.85	166.41	167.70	168.58	－
	供給単価	98.54	136.32	142.07	158.84	172.55	175.21	173.46	172.47	172.80	173.33	173.99	174.01	－
	料金回収率	82.9%	93.6%	93.1%	90.3%	94.7%	97.5%	100.5%	104.9%	105.5%	104.2%	103.8%	103.2%	－

注:平成26年度から給水原価は長期前受金戻入分を差し引いて算定している。

図－12　料金回収率(供給単価／給水原価×100)の推移



表－19　上水道事業における給水原価の分布状況　（令和2年度）

区分		平均 (円/m^3)	最高 (円/m^3)	最低 (円/m^3)	分布状況(事業者数)												
					140円未満	140円以上	160円以上	180円以上	200円以上	220円以上	240円以上	260円以上	280円以上	300円以上	400円以上	500円以上	計
千葉県計		**195.72**	**536.16**	**130.68**	**2**	**4**	**5**	**2**	**2**	**3**	**5**	**3**	**1**	**6**	**2**	**3**	**38**
種別	県営	176.96	－	－			1										1
	特別地方公共団体営	257.06	344.67	170.77			1				3	1		1			6
	市町村営	200.63	536.16	130.68	2	4	3	2	2	3	2	2	1	5	2	3	31
地域別	京葉	182.91	536.16	131.38	1		2							1		1	5
	東葛飾	152.74	174.09	143.50		4	1										5
	君津	249.22	249.22	249.22							1						1
	印旛	203.69	303.76	130.68	1		2	1		1	1	1	1	1			9
	香取	245.12	259.49	190.02				1	1		1						3
	東総	218.63	223.28	211.38					1	2							3
	九十九里	258.40	434.99	249.24							2	1			1		4
	南房総	364.14	516.03	271.96								1		4	1	2	8

注：事業者数は、料金体系が異なる事業は別事業者としてカウントしている。

表－20　上水道事業における供給単価の分布状況　（令和2年度）

区分		平均 (円/m^3)	最高 (円/m^3)	最低 (円/m^3)	分布状況(事業者数)												
					140円未満	140円以上	160円以上	180円以上	200円以上	220円以上	240円以上	260円以上	280円以上	300円以上	400円以上	500円以上	計
千葉県計		**195.14**	**286.00**	**141.40**		**3**	**5**	**3**	**8**	**10**	**5**	**2**	**2**				**38**
種別	県営	189.29	－	－				1									1
	特別地方公共団体営	237.49	250.96	210.48					1	3	2						6
	市町村営	188.39	286.00	141.40		3	5	2	7	7	3	2	2				31
地域別	京葉	187.30	201.98	143.26		2		2	1								5
	東葛飾	173.91	178.98	164.87			5										5
	君津	250.96	250.96	250.96							1						1
	印旛	193.26	242.80	141.40		1		1	3	3	1						9
	香取	232.41	238.03	212.30					2	1							3
	東総	227.72	230.70	221.11						3							3
	九十九里	225.95	232.31	216.57					1	3							4
	南房総	249.95	286.00	211.34					1		3	2	2				8

注：事業者数は、料金体系が異なる事業は別事業者としてカウントしている。

エ. 水道料金

令和２年度の県内平均は、185.16円／m^3（家庭用で1か月20㎥使用した場合の1㎥当たりの換算料金）となっている。また、事業者の分布をみると、130円未満が4事業者（10.5％）、130円以上180円未満が11事業者（28.9％）、180円以上が23事業者(60.6%)となっている。

地域別にみると、京葉地区、東葛飾地区の料金が低く、君津地区、香取地区、東総地区、九十九里地区、南房総地区の料金が高い。規模別でみると、規模が大きくなるほど料金が低くなる傾向がある。〔表－21〕

また、県内水道事業者における最低料金は105.05円、最高料金は269.50円であり、その格差は2.57倍となっている。

表－21　上水道事業における水道料金の地域別及び規模別分布状況　（令和2年度）

区分		平均 (円/m^3)	最高 (円/m^3)	最低 (円/m^3)	分布状況															
					90円未満	90円以上	100円以上	110円以上	120円以上	130円以上	140円以上	150円以上	160円以上	170円以上	180円以上	190円以上	200円以上	210円以上	220円以上	計
千葉県計		**185.16**	**269.50**	**105.05**			**1**	**2**	**1**	**8**	**1**	**1**	**1**			**5**	**5**	**3**	**10**	**38**
構成比(%)		**－**	**－**	**－**			**2.6**	**5.3**	**2.6**	**21.1**	**2.6**	**2.6**	**2.6**			**13.2**	**13.2**	**7.9**	**26.3**	**100.0**
種別	県営	134.50	－	－						1										1
	特別地方公共団体営	210.24	226.60	197.15												1	2	2	1	6
	市町村営	181.94	269.50	105.05			1	2	1	7	1	1	1			4	3	1	9	31
地域別	京葉	129.32	138.05	105.05			1			4										5
	東葛飾	128.37	139.15	113.30				1	1	3										5
	君津	214.50	214.50	214.50														1		1
	印旛	173.73	207.90	115.50				1		1	1		1			3	2			9
	香取	218.17	236.50	198.00												1			2	3
	東総	205.15	231.00	153.45								1							2	3
	九十九里	213.66	226.60	197.15												1		2	1	4
	南房総	230.61	269.50	201.85													3		5	8
規模別	100万人以上	134.50	134.50	134.50						1										1
	50万～100万人未満																			
	25万～50万人未満	163.90	214.50	113.30				1										1		2
	10万～25万人未満	148.77	215.30	105.05			1		1	3	1					1		1		8
	5万～10万人未満	163.23	231.00	115.50				1		2		1					1		1	6
	3万～5万人未満	190.30	228.25	134.50						2						1	2		2	7
	2万～3万人未満	220.45	236.50	204.40													1		1	2
	1万～2万人未満	204.69	269.50	165.00									1			3	1		1	6
	1万人未満	236.61	250.25	215.60														1	4	5
	0.5万人未満	220.00	220.00	220.00															1	1

※家庭用で口径13mmを1か月20㎥使用した場合の1㎥当たり換算料金である。メーター使用料及び消費税を含む。

※平均欄には、各事業者の料金の単純平均を記載した。

※事業者数は、料金体系が異なる事業は別事業者としてカウントしている。

(2)資本的収支

令和2年度における上水道事業及び水道用水供給事業の資本的収入は約320億円で、前年度（約285億円）と比較して約34億円、12.1％増加している。内訳は、収入全体の67.0％を占める企業債が約214億円で前年度（約185億円）と比較して約29億円増加し、他会計繰入金が約27億円で、前年度（約29億円）と比較して約2億円減少し、国庫（県）補助金が約24億円で、前年度（約19億円）と比較すると約5億円増加し、工事負担金が約24億円で、前年度（約28億円）と比較すると約5億円減少し、その他が約31億円で、前年度(約24億円)と比較して約7億円の増加となっている。

一方、資本的支出は約1,196億円で、前年度（約1,053億円）と比較して約143億円、13.6％増加している。〔表－22〕

内訳を見ると、建設改良事業費のうち、新設・拡張事業費は約60億円であり、過去10年間を見ると平成25年度の約184億円をピークに3分の1程度に減少している。一方、老朽化等に伴う既存施設の改良に要する改良事業費は約829億円と、10年前に比べ2倍以上となっており、各事業体においては施設の更新に係る取組を推進している状況にある。〔図－13〕

また、資本的収入から翌年度繰越財源充当額、前年度許可債の今年度収入分を除いた約315億円から、資本的支出約1,196億円を差し引いた約881億円が収支不足額となり、前年度（約772億円）と比較して約109億円、14.1%増加している。〔表－22〕

資本的支出の推移をみると、近年は上昇傾向にあり、令和2年度は過去10年間で最も多くなっている。

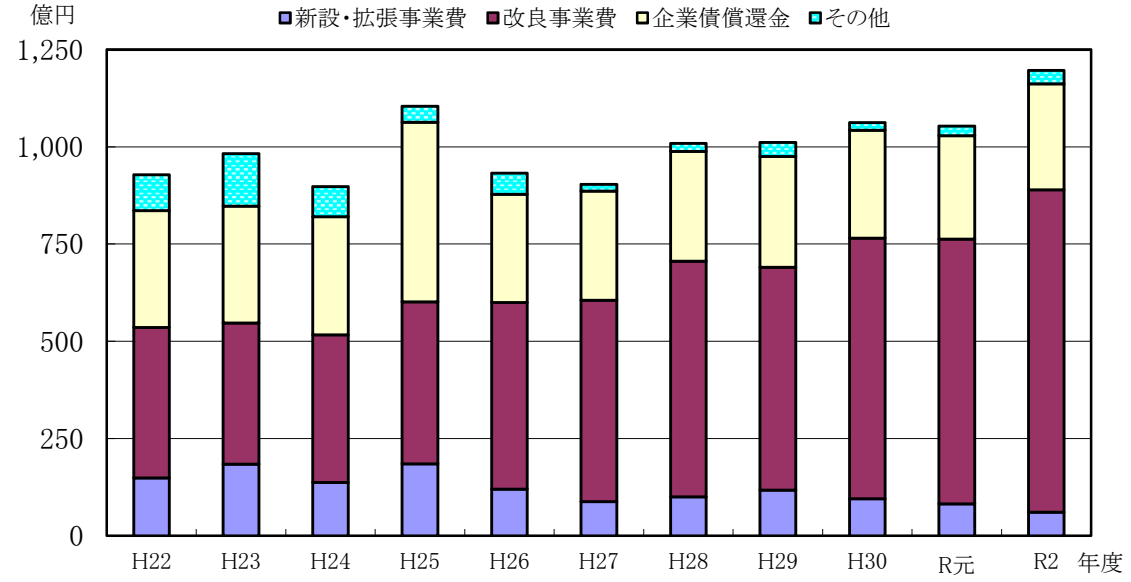
なお、令和2年度の建設利息を除いた建設改良事業費約887億円のうち、施設別の主な事業費の内訳は、配水施設費が約493億円で全体の55.6％、浄水施設費が約235億円で全体の26.5%となっている。〔表－23〕

表－22 資本的収支の状況（消費税を含む）　（単位：百万円、％）

項目		上水道	構成比	用水供給	構成比	2年度計 a	構成比	元年度計 b	対前年比 a／b
資本的収入（A）		29,905	100.0	2,047	100.0	31,953	100.0	28,508	112.1
内訳	企業債	19,862	66.5	1,548	75.6	21,410	67.0	18,513	115.6
	他会計繰入金	2,610	8.7	77	3.8	2,687	8.4	2,865	93.8
	国庫（県）補助金	2,013	6.7	337	16.4	2,350	7.4	1,862	126.2
	工事負担金	2,308	7.7	71	3.5	2,379	7.4	2,837	83.9
	その他	3,113	10.4	14	0.7	3,127	9.8	2,432	128.6
翌年度繰越財源充当額（B）			3		0		3	32	9.4
前年度許可債の今年度収入分（C）			406		0		406	359	113.1
純計　（D）＝（A）－（B）－（C）			29,496		2,047		31,544	28,118	112.2
資本的支出　（E）		103,522	100.0	16,096	100.0	119,618	100.0	105,337	113.6
内訳	新設・拡張事業費	5,824	5.6	176	1.1	6,000	5.0	8,220	73.0
	改良事業費	72,612	70.2	10,302	64.0	82,914	69.4	68,060	121.8
	企業債償還金	22,892	22.1	4,418	27.4	27,309	22.8	26,583	102.7
	その他	2,194	2.1	1,200	7.5	3,395	2.8	2,474	137.2
収支差引　（D）－（E）		▲ 74,026		▲ 14,049		▲ 88,075		▲ 77,221	114.1

※端数処理により合計は合わないことがある。

図－13　資本的支出の推移



（単位：百万円）

年　度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
新設・拡張事業費	14,815	18,351	13,718	18,445	11,938	8,732	9,990	11,710	9,516	8,220	6,000
改良事業費	38,763	36,355	37,953	41,655	48,013	51,786	60,566	57,285	66,960	68,060	82,914
企業債償還金	29,990	29,996	30,381	46,221	27,873	28,051	28,298	28,486	27,742	26,582	27,309
その他	9,255	13,507	7,709	4,072	5,429	1,762	2,011	3,640	1,983	2,475	3,395
合計	92,820	98,209	89,762	110,393	93,254	90,330	100,865	101,121	106,201	105,337	119,618

※端数処理により合計は合わないことがある。

表－23　施設別事業費（消費税を含む、建設利息を除く）　（単位：百万円、％）

	上水道	用水供給	2年度計		元年度	対前年比
			a	構成比	b	a／b
貯水施設費	864	538	1,402	1.6	3,176	44.1
取水施設費	873	221	1,094	1.2	2,337	46.8
導水施設費	555	2,513	3,068	3.5	1,054	291.1
浄水施設費	19,718	3,831	23,549	26.5	22,598	104.2
送水施設費	389	2,751	3,140	3.5	3,029	103.7
配水施設費	49,296	0	49,296	55.6	40,136	122.8
その他	6,576	622	7,198	8.1	3,649	197.3
計	78,271	10,476	88,747	100.0	75,978	116.8

※端数処理により合計は合わないことがある。

(3)貸借対照表

令和2年度末における上水道事業及び水道用水供給事業の資産の合計は約1兆8,386億円で前年度(約1兆8,274億円)と比較して、約112億円増加している。内訳は、資産の89.2%を占める固定資産が約1兆6,399億円で前年度(約1兆6,239億円)と比較して、約160億円増加しており、流動資産が約1,986億円で前年度(約2,035億円)と比較して約49億円減少している。

負債の合計は、約8,276億円で前年度(約8,365億円)と比較して約89億円、1.1%減少している。内訳は、固定負債が約3,126億円で前年度(約3,203億円)と比較して、約77億円減少し、流動負債が約774億円で前年度(約702億円)と比較して、約72億円増加している。

資本の合計は、約10,110億円で前年度(約9,909億円)と比較して約201億円、2.0%増加している。内訳は、負債・資本の47.6%を占める資本金が約8,758億円で前年度(約8,529億円)と比較して、約229億円増加し、負債・資本の7.4%を占める剰余金が約1,352億円で前年度(約1,381億円)と比較して約29億円減少している。

剰余金のうち利益剰余金が約533億円で前年度(約562億円)と比較して約29億円減少している。〔表－24〕

表－24 貸借対照表の状況 (単位:百万円、%)

項目	上水道	構成比	用水供給	構成比	2年度計 a	構成比	元年度計 b	対前年比 a／b
資産合計 (A)＋(B)+(C)	1,483,259	100.0	355,296	100.0	1,838,555	100.0	1,827,387	100.6
固定資産 (A)＝(D)+(E)＋(F)	1,328,720	89.6	311,211	87.6	1,639,931	89.2	1,623,932	101.0
有形固定資産 (D)	1,155,478	77.9	212,763	59.9	1,368,242	74.5	1,370,829	99.8
うち土地	70,851	4.8	16,273	4.6	87,124	4.7	87,164	100.0
償却資産	2,156,124	70.0	457,086	51.9	2,613,209	66.6	2,564,636	100.4
減価償却累計額(△)	1,117,682		272,635		1,390,317		1,347,042	
建設仮勘定	45,965	3.1	12,040	3.4	58,005	3.2	66,061	87.8
無形固定資産 (E)	167,591	11.3	95,840	27.0	263,431	14.3	246,512	106.9
投資 (F)	5,650	0.4	2,608	0.7	8,258	0.4	6,591	125.3
流動資産 (B)	154,540	10.4	44,085	12.4	198,625	10.8	203,456	97.6
うち現金及び預金	127,517	8.6	41,030	11.5	168,547	9.2	172,291	97.8
繰延勘定 (C)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
負債･資本合計 (G)+(H)	1,483,259	100.0	355,296	100.0	1,838,555	100.0	1,827,387	100.6
負債合計 (G)＝(I)+(J)＋(K)	709,058	47.8	118,505	33.4	827,562	45.0	836,475	98.9
固定負債 (I)	268,583	18.1	43,976	12.4	312,558	17.0	320,261	97.6
流動負債 (J)	66,946	4.5	10,424	2.9	77,369	4.2	70,249	110.1
繰延収益 (K)	373,529	25.2	64,105	18.1	437,635	23.8	445,966	98.1
資本合計 (H)＝(L)+(M)	774,202	52.2	236,791	66.6	1,010,993	55.0	990,912	102.0
資本金 (L)	652,645	44.0	223,106	62.7	875,751	47.6	852,858	102.7
剰余金 (M)＝(N)＋(O)	121,557	8.2	13,685	3.9	135,242	7.4	138,055	98.0
資本剰余金 (N)	77,436	5.2	4,458	1.3	81,894	4.5	81,874	100.0
利益剰余金 (O)	44,120	3.0	9,227	2.6	53,347	2.9	56,181	95.0
うち当年度未処分利益剰余金、当年度未処理欠損金(△)	25,888	1.7	6,325	1.8	32,213	1.8	33,439	96.3

※ 端数処理により合計は合わないことがある。

Ⅱ　市町村別水道普及状況

市町村別水道普及状況

1. 上水道、簡易水道、飲料水供給施設については、上欄に公営、下欄(＊)にその他を記入した。
2. 専用水道のうち、水源が他の水道事業からの受水によるもの及び自己水源と上水道を併用しているものは、給水人口について水道事業者に算入されているため、合計には含めない。
3. 上水道及び簡易水道の箇所数は、当該市町村にかかる水道事業の箇所数を記入し、( )内に県営水道、企業団営水道及び他の市町村から行政区域外給水を受けている水道事業者の数を内数で記入した。

   例として、当該市営水道の外、県営水道及び隣接する他市営の1水道から行政区域外給水を受けている場合は、「3(2)」となる。なお、複数の市町村に給水を行う水道事業者は次のとおりである。

事 業 者	給 水 市 町 村
千葉県	千葉市、市川市、船橋市、松戸市、習志野市、市原市、鎌ケ谷市、浦安市 成田市、白井市、印西市
松戸市	松戸市、流山市
習志野市	習志野市、船橋市
流山市	流山市、松戸市
我孫子市	我孫子市、茨城県取手市
かずさ水道広域連合企業団	木更津市、君津市、富津市、袖ケ浦市
四街道市	四街道市、千葉市
長門川水道企業団	印西市、栄町
香取市	香取市、茨城県稲敷市
神崎町	神崎町、成田市、香取市
八匝水道企業団	匝瑳市、横芝光町
山武郡市広域水道企業団	東金市、山武市、大網白里市、九十九里町、横芝光町
長生郡市広域市町村圏組合	茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、市原市
三芳水道企業団	館山市、南房総市

市町村別水道普及表

地域名	市町村名	行政区域内総人口	上水道			簡易水道			専自己水源のみに	
			箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	確認時給水人口
		① 人	② ヶ所	③ 人	④ 人	⑤ ヶ所	⑥ 人	⑦ 人	⑧ ヶ所	⑨ 人
京葉地域	千葉市	976,746	3 (2) ＊	981,561	947,818	＊			66	29,582
	市川市	497,109	1 (1) ＊	490,606	490,606	＊			2	40
	船橋市	644,240	2 (2) ＊	634,735	632,338	＊			14	2,950
	松戸市	497,830	3 (2) ＊	487,788	461,021	＊			6	370
	習志野市	176,349	2 (1) ＊	177,245	174,456	＊			0	0
	市原市	268,890	3 (2) ＊	251,970	248,552	＊			65	8,136
	鎌ケ谷市	110,081	1 (1) ＊	84,320	84,320	＊			1	100
	浦安市	170,774	1 (1) ＊	170,774	170,774	＊			0	0
	京葉地域小計	3,342,019	16 (12) ＊	3,278,999	3,209,885	0 (0) ＊	0	0	154	41,178
東葛飾地域	野田市	152,426	1 ＊	165,230	149,862	＊			5	1,198
	柏市	428,480	1 ＊	427,150	405,346	＊			20	34,836
	流山市	202,093	2 (1) ＊	203,360	200,176	＊			1	90
	八千代市	200,546	1 ＊	203,500	198,741	＊			11	1,452
	我孫子市	130,396	1 ＊	136,620	123,352	＊			1	0
	東葛飾地域小計	1,113,941	6 (1) ＊	1,135,860	1,077,477	0 (0) ＊	0	0	38	37,576
君津地域	木更津市	135,876	1 (1) ＊	137,935	135,515	＊			8	3,995
	君津市	81,820	1 (1) ＊	81,230	81,288	＊			8	11,289
	富津市	42,123	1 (1) ＊	40,688	40,671	＊			4	21,430
	袖ケ浦市	64,097	1 (1) ＊	61,647	63,155	＊			4	1,703
	君津地域小計	323,916	4 (4) ＊	321,500	320,629	0 (0) ＊	0	0	24	38,417
印旛地域	成田市	132,264	3 (2) ＊	111,457	106,820	2 ＊	6,594	3,144	47	8,382
	佐倉市	168,095	1 ＊	196,000	163,400	＊			3	180
	四街道市	93,984	1 ＊	97,550	93,058	＊			4	273
	八街市	67,149	1 ＊	37,760	36,639	＊			16	4,086

用水道				合計			普及率	飲料水供給施設			
よるもの	左記以外のもの										
現在給水人口	箇所数	確認時給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口		箇所数		計画給水人口	現在給水人口
⑩	⑪	⑫	⑬	②+⑤+⑧+⑪ヶ所	③+⑥+⑨	④+⑦+⑩=⑭	⑭/①*100				
人	ヶ所	人	人	ヶ所	人	人		ヶ所		人	人
									0	0	0
3,212	141	656,130	153,739	210	1,011,143	951,030	97.4%	12	＊ 12	855	797
									0	0	0
40	30	8,981	6,518	33	490,646	490,646	98.7%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
1,294	40	43,261	13,533	56	637,685	633,632	98.4%	9	＊ 9	592	714
									0	0	0
370	36	6,651	6,651	45	488,158	461,391	92.7%	3	＊ 3	398	235
									0	0	0
0	17	18,216	6,721	19	177,245	174,456	98.9%	0	＊ 0	0	0
									1	100	100
3,905	28	2,258	1,604	96	260,106	252,457	93.9%	7	＊ 6	426	251
									0	0	0
140	12	7,398	6,834	14	84,420	84,460	76.7%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
0	10	11,936	8,189	11	170,774	170,774	100.0%	0	＊ 0	0	0
									1	100	100
8,961	314	754,831	203,789	484	3,320,177	3,218,846	96.3%	31	＊ 30	2,271	1,997
									0	0	0
210	14	20,584	967	20	166,428	150,072	98.5%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
11,173	49	484,532	8,373	70	461,986	416,519	97.2%	1	＊ 1	126	51
									0	0	0
50	12	984	936	15	203,450	200,226	99.1%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
1,267	19	2,124	2,177	31	204,952	200,008	99.7%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
0	15	11,883	5,702	17	136,620	123,352	94.6%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
12,700	109	520,107	18,155	153	1,173,436	1,090,177	97.9%	1	＊ 1	126	51
									0	0	0
261	22	39,103	1,439	31	141,930	135,776	99.9%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
3,145	13	24,647	2,501	22	92,519	84,433	100.0%	3	＊ 3	238	119
									0	0	0
152	4	11,906	100	9	62,118	40,823	96.9%	1	＊ 1	80	44
									0	0	0
493	10	5,559	509	15	63,350	63,648	99.3%	1	＊ 1	80	40
									0	0	0
4,051	49	81,215	4,549	77	359,917	324,680	100.0%	5	＊ 5	398	203
									0	0	0
4,761	22	14,903	7,997	74	126,433	114,725	86.7%	4	＊ 4	321	179
									0	0	0
130	9	1,287	1,000	13	196,180	163,530	97.3%	2	＊ 2	118	118
									0	0	0
275	4	178	193	9	97,823	93,333	99.3%	3	＊ 3	210	210
									1	74	65
2,521	2	864	1,026	19	41,846	39,160	58.3%	9	＊ 8	608	497

市町村別水道普及表

地域名	市町村名	行政区域内総人口	上水道			簡易水道			専自己水源のみに	
			箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	確認時給水人口
		① 人	② ヶ所	③ 人	④ 人	⑤ ヶ所	⑥ 人	⑦ 人	⑧ ヶ所	⑨ 人
印旛地域	印西市	103,377	3 (2)	109,307	88,377				10	1,585
			*			*				
	白井市	62,292	2 (1)	56,199	55,385				4	330
			*			*				
	富里市	49,471	1	53,000	39,828				8	4,461
			*			*				
	酒々井町	20,589	1	22,700	18,990				1	69
			*			*				
	栄町	19,977	1 (1)	17,780	17,674				1	290
			*			*				
	印旛地域小計	717,198	14 (6)	701,753	620,171	2 (0)	6,594	3,144	94	19,656
			*			*				
香取地域	香取市	71,790	3 (1)	58,490	54,040	1	4,876	2,899	4	891
			*			*				
	神崎町	5,757	1	10,298	4,800				2	850
			*			*				
	多古町	13,641	1	24,200	12,724				0	0
			*			*				
	香取地域小計	91,188	5 (1)	92,988	71,564	1 (0)	4,876	2,899	6	1,741
			*			*				
東総地域	銚子市	57,756	1	80,000	57,022				1	170
			*			*				
	旭市	63,338	1	58,723	57,176				3	319
			*			*				
	東庄町	13,155	2	17,550	11,541				0	0
			*			*				
	東総地域小計	134,249	4 (0)	156,273	125,739	0 (0)	0	0	4	489
			*			*				
九十九里地域	茂原市	86,502	1 (1)	109,440	85,080				0	0
			*			*				
	東金市	57,740	1 (1)	57,221	56,845				3	2,002
			*			*				
	匝瑳市	34,772	1 (1)	35,340	30,441				1	180
			*			*				
	山武市	48,123	2 (1)	68,666	34,140				5	3,872
			*			*				
	大網白里市	47,990	1 (1)	66,163	47,748				0	0
			*			*				
	九十九里町	14,506	1 (1)	15,360	13,399				0	0
			*			*				
	芝山町	7,021	0	0	0				19	4,664
			*			*				
	横芝光町	21,959	2 (2)	19,460	17,508				1	75
			*			*				

用水道				合計			普及率	飲料水供給施設			
よるもの	左記以外のもの										
現在給水人口	箇所数	確認時給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口		箇所数		計画給水人口	現在給水人口
⑩	⑪	⑫	⑬	②+⑤+⑧+⑪ヶ所	③+⑥+⑨	④+⑦+⑩=⑭	⑭/①*100				
人	ヶ所	人	人	ヶ所	人	人		ヶ所		人	人
									0	0	0
1,277	14	4,520	2,536	27	110,892	89,654	86.7%	1	＊ 1	78	78
									0	0	0
330	5	5,189	2,988	11	56,529	55,715	89.4%	2	＊ 2	110	68
									0	0	0
2,148	3	1,579	214	12	57,461	41,976	84.8%	1	＊ 1	75	50
									0	0	0
85	4	0	0	6	22,769	19,075	92.6%	1	＊ 1	60	60
									0	0	0
220	2	80	80	4	18,070	17,894	89.6%	1	＊ 1	70	68
									1	74	65
11,747	65	28,600	16,034	175	728,003	635,062	88.5%	24	＊ 23	1,650	1,328
									0	0	0
78	2	510	89	10	64,257	57,017	79.4%	2	＊ 2	192	111
									0	0	0
0	0	0	0	3	11,148	4,800	83.4%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
0	1	0	0	2	24,200	12,724	93.3%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
78	3	510	89	15	99,605	74,541	81.7%	2	＊ 2	192	111
									0	0	0
220	2	1,641	0	4	80,170	57,242	99.1%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
281	1	5,570	2,983	5	59,042	57,457	90.7%	1	＊ 1	91	80
									0	0	0
0	0	0	0	2	17,550	11,541	87.7%	1	＊ 1	90	66
									0	0	0
501	3	7,211	2,983	11	156,762	126,240	94.0%	2	＊ 2	181	146
									0	0	0
0	1	700	400	2	109,440	85,080	98.4%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
120	2	7,643	378	6	59,223	56,965	98.7%	2	＊ 2	146	84
									0	0	0
160	1	279	120	3	35,520	30,601	88.0%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
2,599	3	475	475	10	72,538	36,739	76.3%	3	＊ 3	215	215
									0	0	0
0	0	0	0	1	66,163	47,748	99.5%	1	＊ 1	95	51
									0	0	0
0	0	0	0	1	15,360	13,399	92.4%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
1,444	1	0	0	20	4,664	1,444	20.6%	0	＊ 0	0	0
									0	0	0
60	0	0	0	3	19,535	17,568	80.0%	0	＊ 0	0	0

市町村別水道普及表

地域名	市町村名	行政区域内総人口	上水道			簡易水道			専自己水源のみに	
			箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口	箇所数	確認時給水人口
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		人	ヶ所	人	人	ヶ所	人	人	ヶ所	人
九十九里地域	一宮町	11,861	1 (1)	14,600	11,520				0	0
			*			*				
	睦沢町	6,719	1 (1)	9,930	6,599				1	480
			*			*				
	長生村	13,675	1 (1)	12,350	13,330				0	0
			*			*				
	白子町	10,198	1 (1)	13,140	9,952				0	0
			*			*				
	長柄町	6,652	1 (1)	10,050	6,498				1	600
			*			*				
	長南町	7,172	1 (1)	15,610	7,494				2	1,518
			*			*				
	九十九里地域小計	374,890	15 (14)	447,330	340,554	0 (0)	0	0	33	13,391
			*			*				
南房総地域	館山市	44,729	1 (1)	47,768	44,324				0	0
			*			*				
	勝浦市	16,610	1	17,262	16,367				2	30
			*			*				
	鴨川市	31,868	1	41,050	31,637				1	0
			*			*				
	南房総市	35,400	2 (1)	35,532	34,513				1	0
			*			*				
	いすみ市	35,285	1	43,050	34,652				1	96
			*			*				
	大多喜町	8,752	1	7,729	7,891				3	157
			*			*				
	御宿町	6,806	1	12,500	7,061				0	0
			*			*				
	鋸南町	6,876	1	6,870	6,850				0	0
			*			*				
	南房総地域小計	186,326	9 (2)	211,761	183,295	0 (0)	0	0	8	283
			*			*				
計	市	6,088,411	55 (30)	6,116,337	5,775,483	3 (0)	11,470	6,043	330	144,028
			*			*				
	町	181,641	17 (9)	217,777	160,501	0 (0)	0	0	31	8,703
			*			*				
	村	13,675	1 (1)	12,350	13,330	0 (0)	0	0	0	0
			*			*				
総計		6,283,727	73 (40)	6,346,464	5,949,314	3 (0)	11,470	6,043	361	152,731

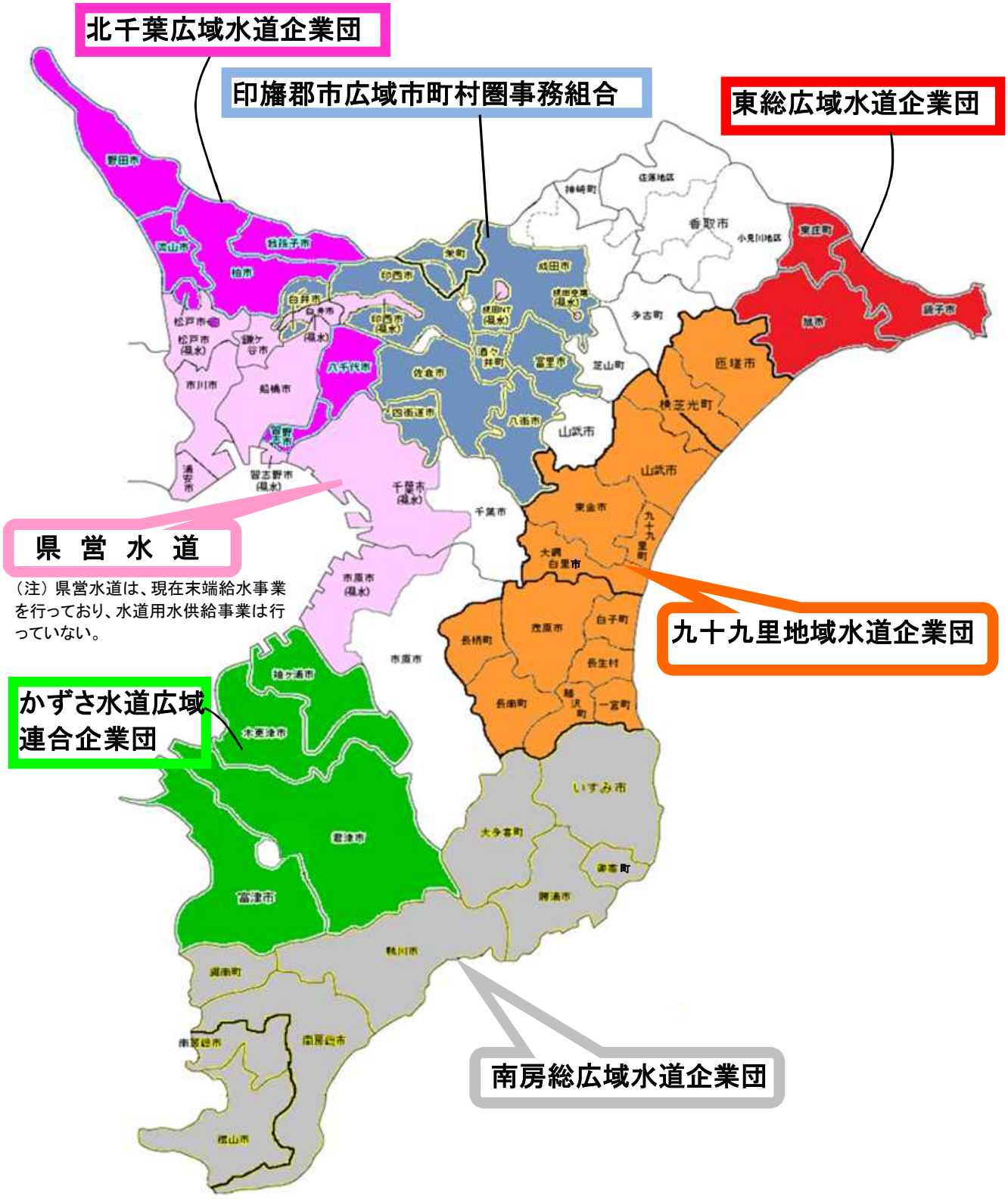
注:①は令和2年国勢調査結果(速報値)基準で集計した数値を使用。
④は茨城県の給水人口を除く。

用水道				合計			普及率	飲料水供給施設			
よるもの	左記以外のもの							箇所数		計画給水人口	現在給水人口
現在給水人口	箇所数	確認時給水人口	現在給水人口	箇所数	計画給水人口	現在給水人口					
⑩ 人	⑪ ヶ所	⑫ 人	⑬ 人	②+⑤+⑧+⑪ヶ所	③+⑥+⑨ 人	④+⑦+⑩=⑭ 人	⑭/①*100	ヶ所		人	人
0	2	618	0	3	14,600	11,520	97.1%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	2	10,410	6,599	98.2%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	1	12,350	13,330	97.5%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	1	13,140	9,952	97.6%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	2	10,650	6,498	97.7%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	3	17,128	7,494	100.0%	0	0 ＊ 0	0	0
4,383	10	9,715	1,373	58	460,721	344,937	92.0%	6	0 ＊ 6	456	350
0	4	510	44	5	47,768	44,324	99.1%	0	0 ＊ 0	0	0
3	5	1,463	189	8	17,292	16,370	98.6%	0	0 ＊ 0	0	0
0	6	4	56	8	41,050	31,637	99.3%	0	0 ＊ 0	0	0
0	1	0	0	4	35,532	34,513	97.5%	1	0 ＊ 1	88	59
90	0	0	0	2	43,146	34,742	98.5%	0	0 ＊ 0	0	0
9	1	80	1	5	7,886	7,900	90.3%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	1	12,500	7,061	100.0%	0	0 ＊ 0	0	0
0	0	0	0	1	6,870	6,850	99.6%	0	0 ＊ 0	0	0
102	17	2,057	290	34	212,044	183,397	98.4%	1	0 ＊ 1	88	59
40,705	559	1,403,468	247,181	947	6,271,835	5,822,231	95.6%	69	2 ＊ 67	174 5,142	165 4,051
1,818	11	778	81	59	226,480	162,319	89.4%	3	0 ＊ 3	0 220	0 194
0	0	0	0	1	12,350	13,330	97.5%	0	0 ＊ 0	0	0
42,523	570	1,404,246	247,262	1,007	6,510,665	5,997,880	95.5%	72	72	5,536	4,410

Ⅲ　水 道 施 設 別 一 覧 表

1. 水道用水供給事業

水道用水供給事業給水対象区域図



※白地は用水供給を受けていない地域。県営水道は、北千葉広域水道企業団とかずさ水道広域連合企業団から用水供給を受けており、給水区域の一部に供給されている。

水道用水供給事業(その1)

整理番号	事業主体名	創設認可年月	基本計画					給水対象事業者名
			認可年月日	事業名	一日最大給水量 m^3	目標年度	工期 (年度)	
12-501	九十九里地域水道企業団	S47. 3	H 3.10.28	1拡変更	194,100	H23	H 3～H14	八匝水道企業団 山武郡市広域水道企業団 長生郡市広域市町村圏組合
12-502	北千葉広域水道企業団	S48. 3	H21.3.25	創設変更(第2回)	525,000	R7	H22～H28	千葉県、松戸市、野田市 柏市、流山市、我孫子市 習志野市、八千代市
12-503	東総広域水道企業団	S48. 3	H14.6.28	創設変更(第2回)	45,800	R2	H15～H28	銚子市、旭市、東庄町
12-505	印旛郡市広域市町村圏事務組合	S56. 3	H 7. 3.31	創設変更	166,700	H22	H 7～H21	成田市、佐倉市、四街道市 八街市、印西市、白井市 富里市、酒々井町 長門川水道企業団
12-506	南房総広域水道企業団	H 3. 3	H24.3.19	創設変更	42,330	R2	H26～H27	勝浦市、鴨川市、南房総市 いすみ市、大多喜町、御宿町 鋸南町、三芳水道企業団
12-507	かずさ水道広域連合企業団	H31. 3	H31.3.28	創設認可	164,000	R7	R元～R7	千葉県 かずさ水道広域連合企業団
合計		—	—	—	1,137,930	—	—	—

構成団体

かずさ水道広域連合企業団……木更津市,君津市,富津市,袖ケ浦市

八匝水道企業団……匝瑳市,横芝光町

山武郡市広域水道企業団……東金市,山武市,大網白里市,九十九里町,横芝光町

長生郡市広域市町村圏組合……茂原市,白子町,一宮町,長柄町,長南町,長生村,睦沢町

長門川水道企業団……印西市,栄町

三芳水道企業団……館山市,南房総市

職員数 人	河川水系名 河　川　名	原水の 種　別	浄水処理 方　　法 高度処理等	水道料金 年間収入 千円	年　間　実　績 取水量 千㎥	給水量 (用水量) 千㎥	有効水量 千㎥	有収水量 千㎥
80	利根川水系 利根川	表流水	急 活炭	5,437,866	38,878	38,299	38,299	38,296
91	利根川水系 江戸川	表流水	急、前塩 中塩 活炭、ｵｿﾞﾝ	11,308,296	170,996	167,063	164,005	163,953
23	利根川水系 黒部川	表流水	急 活炭	1,407,477	9,747	9,643	9,643	9,589
20	利根川水系 利根川 利根川水系 西印旛沼	表流水	急 活炭、ｵｿﾞﾝ	3,494,957	21,665	20,756	20,756	20,745
32	利根川水系 利根川	表流水	急、前塩 中塩、多濾 活炭	2,831,820	11,989	11,788	11,788	11,755
72	小櫃川水系 小櫃川 小櫃川水系 笹川	表流水	急、前塩 中塩 活炭	5,929,940	50,662	50,174	50,069	50,042
318	—	—	—	30,410,356	303,937	297,723	294,560	294,380

水道用水供給事業(その2)

整理番号	事業主体名	施設能力	実績一日最大給水量	実績一日平均給水量	比率				
					稼働率	負荷率	有効率	有収率	利用量率
		㎥／日	㎥	㎥	%	%	%	%	%
12-501	九十九里地域水道企業団	194,100	116,016	104,929	59.8	90.4	100.0	100.0	98.5
12-502	北千葉広域水道企業団	551,250	497,230	457,707	90.2	92.1	98.2	98.1	97.7
12-503	東総広域水道企業団	49,400	30,717	26,419	62.2	86.0	100.0	99.4	98.9
12-505	印旛郡市広域市町村圏事務組合	61,490	60,735	56,866	98.8	93.6	100.0	99.9	95.8
12-506	南房総広域水道企業団	58,000	37,368	32,296	64.4	86.4	100.0	99.7	98.3
12-507	かずさ水道広域連合企業団	195,000	151,961	137,463	77.9	90.5	99.8	99.7	99.0
合　計		1,109,240	894,027	815,680	80.6	91.2	98.9	98.9	98.0

※1 供給単価及び給水原価は、地方公営企業決算状況調査表より算出。(給水原価は長期前受金戻入を控除)

供給単価 ※1 円／㎥	給水原価 ※1 円／㎥	取 水 地 点	備 考
142.00	140.19	利根川水系利根川 （光取水場）　横芝光町宝米字宮之下1751 （東金取水場）　東金市松之郷3695-3 （長柄取水場Ⅰ）市原市古都辺591-3 （長柄取水場Ⅱ）市原市古都辺603	
68.97	57.59	利根川水系江戸川 （北千葉取水場）松戸市七右衛門新田36-3	
146.77	136.39	利根川水系黒部川 （笹川浄水場）東庄町笹川ろ 1	
168.47	158.97	利根川水系利根川 （木下取水場）印西市木下中割1960 利根川水系西印旛沼 （印旛取水場）佐倉市臼井田1541	
240.90	211.59	房総導水路 （緊急連絡管）夷隅郡大多喜町西部田字川島892	
118.50	101.52	小櫃川水系小櫃川 （大寺浄水場）木更津市大寺346	
103.30	91.66	―	

水道用水供給事業(その3)　　管種別管延長

整理番号	事業主体名	鋳鉄管 m	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管(耐震型) ※1 (②) m	鋼管 ※2 (③) m	石綿ｾﾒﾝﾄ管 m	硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 m	ｺﾝｸﾘｰﾄ管 m	鉛管 m	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 ※3 (④) m	ｽﾃﾝﾚｽ管 ※4 (⑤) m	その他(不詳) m	計〈経年管〉 ※5 ①　m	耐震適合率 (②+③+④+⑤)/① %
12-501	九十九里地域水道企業団	0	77,995 (53,932)	7,607 (7,607)	0	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0	85,602 〈77,458〉	71.9%
12-502	北千葉広域水道企業団	0	101,120 (91,220)	13,720 (13,720)	0	0	0	0	0 (0)	446 (446)	0	115,286 〈104,985〉	91.4%
12-503	東総広域水道企業団	0	32,460 (21,683)	262 (262)	0	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0	32,722 〈21,643〉	67.1%
12-505	印旛郡市広域市町村圏事務組合	0	62,903 (47,739)	3,617 (3,617)	0	0	0	0	0 (0)	318 (318)	0	66,838 〈59,246〉	77.3%
12-506	南房総広域水道企業団	0	151,689 (143,546)	23,744 (23,744)	0	0	0	0	0 (0)	0 (0)	0	175,433 〈172,971〉	95.4%
12-507	かずさ水道広域連合企業団	0	72,668 (24,197)	16,917 (16,917)	0	0	0	0	0 (0)	59 (59)	0	89,644 〈80,959〉	45.9%
合　　計		0	498,835 (382,317)	65,867 (65,867)	0	0	0	0	0 (0)	823 (823)	0	565,525 〈517,262〉	79.4%

※1　下段の数値は耐震型継手を有するもの及びK形継手等を有するもので良い地盤に設置されているもので内数
※2　下段の数値は溶接継手を有するもので内数
※3　下段の数値は高密度、熱融着継手を有するもので内数
※4　下段の数値は耐震継手を有するもので内数
※5　下段の数値は経年管の布設延長で内数